

第 1 回大山隠岐国立公園満喫プロジェクト地域協議会

次 第

時間：平成 28 年 9 月 5 日（月） 13:00～15:00

会場：鳥取県西部総合事務所 2 階 講堂

議 事 事 項

1. 開会
2. 挨拶
3. 出席者紹介
4. 会議内容
 - (1) 国立公園満喫プロジェクトについて
 - (2) 地域協議会の設置について
 - (3) 今後のスケジュールについて
 - (4) その他
5. 閉会

以 上

第 1 回大山隠岐国立公園満喫プロジェクト地域協議会

配布資料一覧

時間：平成 28 年 9 月 5 日（月） 13:00～15:00

会場：鳥取県西部総合事務所 2 階 講堂

- ・ 次第
- ・ 配付資料一覧
- ・ 出席者一覧
- ・ 配席図

- ・ 資料 1：「明日の日本を支える観光ビジョン」の概要
- ・ 資料 2：満喫プロジェクトの概要
（選定経緯、スケジュール、ステップアッププログラムのイメージ等）
- ・ 資料 3：ステップアッププログラム 2020 の構成
- ・ 資料 4：大山隠岐国立公園満喫 P J 地域協議会体制（案）
- ・ 資料 5：大山隠岐国立公園満喫プロジェクト地域協議会設置要綱（案）
- ・ 資料 6：ステップアッププログラム 2020 策定フロー
- ・ 資料 7：大山蒜山三徳山地域ビューポイント想定
- ・ 資料 8：隠岐地域・島根半島西部地域・東部地域・三瓶山地域ビューポイント想定

以 上

これまでの議論を踏まえた課題

- 我が国の豊富で多様な観光資源を、誇りを持って磨き上げ、その価値を日本人にも外国人にも分かりやすく伝えていくことが必要。
- 観光の力で、地域の雇用を生み出し、人を育て、国際競争力のある生産性の高い観光産業へと変革していくことが必要。
- CIQや宿泊施設、通信・交通・決済など、受入環境整備を早急に進めることが必要。
- 高齢者や障がい者なども含めた、すべての旅行者が「旅の喜び」を実感できるような社会を築いていくことが必要。

「観光先進国」への「3つの視点」と「10の改革」

視点 1

「観光資源の魅力を極め、地方創生の礎に」

- 「魅力ある公的施設」を、ひろく国民、そして世界に開放
 - ・赤坂や京都の迎賓館などを大胆に公開・開放
- 「文化財」を、「保存優先」から観光客目線での「理解促進」、そして「活用」へ
 - ・2020年までに、文化財を核とする観光拠点を全国で200整備、わかりやすい多言語解説など1000事業を展開し、集中的に支援強化
- 「国立公園」を、世界水準の「ナショナルパーク」へ
 - ・2020年を目標に、全国5箇所の公園について民間の力も活かし、体験・活用型の空間へと集中改善
- おもな観光地で「景観計画」をつくり、美しい街並みへ
 - ・2020年を目途に、原則として全都道府県・全国の半数の市区町村で「景観計画」を策定

視点 2

「観光産業を革新し、国際競争力を高め、我が国の基幹産業に」

- 古い規制を見直し、生産性を大切にする観光産業へ
 - ・60年以上経過した規制・制度の抜本見直し、トップレベルの経営人材育成、民泊・民泊の整備、宿泊業の生産性向上など、総合パッケージで推進・支援
- あたらしい市場を開拓し、長期滞在と消費拡大を同時に実現
 - ・欧州・米国・豪州や富裕層などをターゲットにしたプロモーション、戦略的なビザ緩和などを実施
 - ・MICE誘致・開催の支援体制を抜本的に改善
 - ・首都圏におけるビジネスジェットの受入環境改善
- 疲弊した温泉街や地方都市を、未来発想の経営で再生・活性化
 - ・2020年までに、世界水準DMOを全国100形成
 - ・観光地再生・活性化ファンド、規制緩和などを駆使し、民間の力を最大限活用した安定的・継続的な「観光まちづくり」を実現

視点 3

「すべての旅行者が、ストレスなく快適に観光を満喫できる環境に」

- ソフトインフラを飛躍的に改善し、世界一快適な滞在を実現
 - ・世界最高水準の技術活用により、出入国審査の風景を一変
 - ・ストレスフリーな通信・交通利用環境を実現
 - ・キャッシュレス観光を実現
- 「地方創生回廊」を完備し、全国どこへでも快適な旅行を実現
 - ・「ジャポン・レールパス」を訪日後でも購入可能化
 - ・新幹線開業やコンセクション空港運営等と連動した、観光地へのアクセス交通充実の実現
- 「働きかた」と「休みかた」を改革し、躍動感あふれる社会を実現
 - ・2020年までに、年次有給休暇取得率70%へ向上
 - ・家族が休暇をとりやすい制度の導入、休暇取得の分散化による観光需要の平準化

新たな目標値について

安倍内閣 3 年間の成果

戦略的なビザ緩和、免税制度の拡充、出入国管理体制の充実、航空ネットワーク拡大など、**大胆な「改革」**を断行。

・ **訪日外国人旅行者数**は、**2 倍増**の**約2000万人**に

(2012年) (2015年)

836万人 ⇒ 1974万人

・ **訪日外国人旅行消費額**は、**3 倍増**の**約 3.5 兆円**に

1兆846億円 ⇒ 3兆4771億円

新たな目標への挑戦！

訪日外国人旅行者数

2020年： **4,000万人**
(2015年の約2倍)

2030年： **6,000万人**
(2015年の約3倍)

訪日外国人旅行消費額

2020年： **8兆円**
(2015年の2倍超)

2030年： **15兆円**
(2015年の4倍超)

地方部での外国人延べ宿泊者数

2020年： **7,000万人泊**
(2015年の3倍弱)

2030年： **1億3,000万人泊**
(2015年の5倍超)

外国人リピーター数

2020年： **2,400万人**
(2015年の約2倍)

2030年： **3,600万人**
(2015年の約3倍)

日本人国内旅行消費額

2020年： **21兆円**
(最近5年間の平均から約5%増)

2030年： **22兆円**
(最近5年間の平均から約10%増)

国立公園満喫プロジェクト

I. 背景

明日の日本を支える観光ビジョン

平成28年3月30日策定

訪日外国人旅行者数に関する新たな目標として、
2020年に約2倍となる4,000万人を目指す。
国立公園は、10本の柱の一つに位置づけ。

国立公園の「ナショナルパーク」としてのブランド化

「国立公園満喫プロジェクト」として、まずは5箇所の国立公園で、「国立公園ステップアッププログラム2020」を策定し、訪日外国人を惹きつける取組を計画的、集中的に実施

※2015年の訪日外国人の国立公園利用者数は430万人

II. 現状と課題

	日本の国立公園	北米の国立公園
自然環境	バラエティ豊かな自然 (多様な自然景観・野生生物と季節変化)	ダイナミックな自然 (規模が大きいが一時的)
土地所有	国・公有地、民有地	国有地(公園専用)
魅力 ポイント	自然と人の暮らしの調和 (自然・文化・歴史・食・温泉...)	人為を排した、原生的な自然

日本の国立公園は、**優れた自然のみならず、その自然に育まれた伝統文化や食などの地元特有の人の暮らしに触れられる公園**

インバウンドに対して、国立公園のポテンシャルが十分に引き出されていない

- ①外国人が満喫できるメニュー、快適な利用環境の未整備
- ②外国人をも魅了する公園利用拠点の不備
- ③外国人に日本の国立公園の魅力が伝わっていない

III. 基本的考え方

- ①「**最大の魅力は自然そのもの**」をコンセプトに、非日常的な体験を世界の人々に提供
- ②最高の自然環境をツーリズムに開放し、**高品質・高付加価値のインバウンド市場を創造**

IV. 選定経緯

平成28年5月10日：有識者会議設置(3回開催)

平成28年7月25日(第3回)：会議の議論を踏まえ、要望があった**16の国立公園の中から**、**先行的、集中的に取組を実施する8つの公園を大臣が選定**

阿寒、十和田八幡平、日光、伊勢志摩、
大山隠岐、阿蘇くじゅう、霧島錦江湾、
慶良間諸島



阿蘇くじゅう国立公園

V. 今後の予定

平成28年8月目処：8つの公園ごとに**地域協議会**を設置

平成28年12月まで：各地域協議会において

「ステップアッププログラム2020」を策定

平成29年1月以降：**8公園のビューポイント(重点取組地域)**において、インバウンド増加に向けた**本格的取組を実施**

※選定されなかった8公園についても、1~2カ所のビューポイントにおいて取組を実施

全国の国立公園に展開！！

2020年までに訪日外国人の国立公園利用者数を1000万人に！

先導的モデルとなる国立公園の選定について

参考資料

選定のメルクマールを有識者会議の議論を踏まえて設定

1. 地元の熱意と仕組み

- ①地元の主体性、推進体制の構築
- ②インバウンド増加に係る戦略・計画の策定
- ③自然環境（景観を含む）を損なうことのない適正な利用の担保

2. インバウンドを伸長する潜在力（ポテンシャル）

- ①観光資源としてのポテンシャル
- ②幅広い主体（観光庁・文化庁・民間等）との有機的連携のポテンシャル

3. 特徴あるテーマ性、モデル性

自治体（道県）から**要望があった国立公園は16公園**

- | | |
|----------------------|--------------------------|
| ・阿寒国立公園（北海道） | ・十和田八幡平国立公園（青森県、秋田県、岩手県） |
| ・日光国立公園（栃木県） | ・上信越高原国立公園（長野県） |
| ・中部山岳国立公園（富山県、岐阜県） | ・妙高戸隠連山国立公園（長野県） |
| ・吉野熊野国立公園（和歌山県） | ・瀬戸内海国立公園（兵庫県、香川県） |
| ・足摺宇和海国立公園（高知県） | ・雲仙天草国立公園（長崎県） |
| ・霧島錦江湾国立公園（鹿児島県、宮崎県） | ・慶良間諸島国立公園（沖縄県） |
| | ・富士箱根伊豆国立公園（静岡県） |
| | ・伊勢志摩国立公園（三重県） |
| | ・大山隠岐国立公園（鳥取県、島根県） |
| | ・阿蘇くじゅう国立公園（熊本県、大分県） |

※締め切りまでにメルクマールに沿った総合的評価が可能な情報をいただいた道県に限る

- メルクマール**に沿って、総合評価を行った結果、8つの公園を候補として選定
- 選定された公園では複数のビューポイント（重点取組地域）において先行的、集中的に取組を推進
- 要望があったその他の公園についても1, 2か所のビューポイントにおいて、それぞれの特性に合ったハードやソフトの取組を実施

全国の国立公園に展開！！

2020年までに訪日外国人の国立公園利用者数を1000万人に！

選定された国立公園

国立公園名	選定のポイント
○阿蘇くじゅう	災害復興、カルデラと千年の草原
○阿寒	観光立国ショーケース、エコツーリズム全体構想
○十和田八幡平	震災復興、温泉文化
○日光	欧米人来訪の実績
○伊勢志摩	伝統文化、エコツーリズム全体構想
○大山隠岐	オーバーユースに対する先進的取組
○霧島錦江湾	多様な火山と「環霧島」の自治体連携
○慶良間諸島	地元ダイビング事業者によるサンゴ保全の取組 エコツーリズム全体構想

今後の主なスケジュール

2016 (H28)
8月 9月

2017 (H29)
10-11月 12月 4月



2020
(H32)

道県ヒアリング

国立公園満喫プロジェクト等推進事業等

H28補正
約103億円
の内数

H29当初
約101億円
の内数

H30以降も
要求予定

地域協議会準備会合

第1回地域協議会

ステップアッププログラム
たたき台

第2、3回地域協議会等

ステップアッププログラム
策定

ステップアッププログラム
に基づき各種取組を実施

外国人国立公園利用者数
1000万人



有識者会議委員等の
アドバイザーから助言

ステップアッププログラム2020に盛り込む取組（例）

1. 交通拠点から国立公園までのアクセスルート

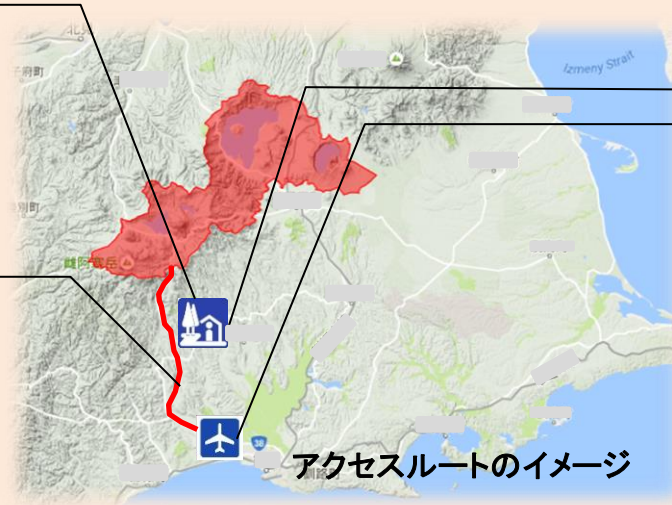
方向性 国立公園に加えて公園に至るアクセスルートを含む全域を「保全区域」と認識し、看板、廃屋等、眺望を妨げるものの一切を撤去するなど、**自然の魅力を最大限引き出す。**

- ①外国人観光客の**主要交通拠点の洗い出し**と同拠点における**国立公園への誘導情報の提供**
- ②自然景観や文化財等の所在も踏まえ、屋外広告物の制限や撤去、電線の地中化、街並みの統一に 向けた 関係者の協力が得られる**主要アクセスルートの設定と、景観整備に必要な仕組みづくり**
- ③**アクセスルート上のトイレ等のユニバーサルデザイン化、多言語案内の設置**

ユニバーサルデザイン化等



アクセスルート沿いの
景観整備



地図データ ©2016 Google, ZENRIN

空港、道の駅等における
国立公園の情報提供



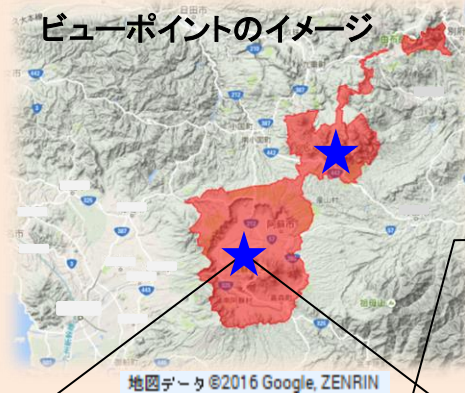
ステップアッププログラム2020に盛り込む取組（例）

2. 国立公園区域内

方向性

大自然の中に身を置き、体感できるよう、上質な宿泊・滞在施設の誘致やツアー・プログラムの開発などにより、**公園区域内の大胆な利用の拡大**を図る。

- ① **ビューポイント（重点取組地域）の設定**。案内標識等のデザイン統一、多言語化、IT活用による情報提供等をセットにした利用施設の整備、景観上の障害物の除去等
- ② **上質な宿泊・滞在施設の誘致**に向けた拠点設置の候補となるエリアの絞り込み。上記施設誘致に向けた地元関係者間の合意形成。**利用施設計画の柔軟な見直し（歩道等を含む）**
- ③ 廃業宿泊施設等のリニューアル、ビジターセンターにおける新サービスの提供、美しい街並みの整備、屋外広告規制や景観統一に向けた仕組みづくり、Wi-Fi環境の整備、国有林野の活用等の検討
- ④ 園内ルート周辺における景観障害物撤去の仕組みづくり
- ⑤ 地域へのインバウンドが求めるニーズ情報の整理や、ニーズに即した公園内の観光資源にかかる映像・動画の収集。観光資源を活用した魅力的なプログラムの開発、ガイド育成



廃屋撤去後の
利用施設の整備



展望地の整備とITを
活用した解説案内



VCにおける新サービス
例) ツアーデスク設置

3. プロモーション・誘導策

方向性

国の機関によるプロモーション活動。それと連動した地域ならではの情報の発信

ステップアッププログラム 2020 の構成

はじめに

- ・背景、計画期間（2020 年まで）、概要説明

1. 現状分析

- ・当該国立公園の特徴
- ・当該国立公園を訪れている外国人の国別内訳は〇〇
- ・当該国立公園が有する課題

2. コンセプトと取組の方針

- ・当該国立公園のコンセプトは〇〇（例：アイヌ文化をつむぐ森と湖）
- ・コンセプトの解説（背景となる当該公園オリジナルの特徴や魅力、提供できるサービスなど）
- ・当該国立公園が目指すべき姿、取組の方針、ターゲットとする利用者層の明確化（国籍、旅行形態、関心事項）

3. 目標

- ・当該国立公園は 2020 年に訪日外国人来訪者数を〇万人とすることを目標とする

※道県等有する既存のデータを踏まえ、どこまで目標として共通に記載するか、要検討

4. プロジェクトの実施

※可能な限り具体的な箇所名、実施主体、実施時期を追記した文章を記載する。
また、実施箇所の位置関係がわかる図面を添付する。

（1）主要交通拠点から国立公園主要利用拠点までのアクセスルートに係る事項

1）アクセスルートの特定と取組方針

※当該国立公園に外国人観光客が使用すると想定される交通拠点から国立公園内のビジターセンター等の主要な利用拠点までのアクセスルートを図面で記載するとともに、設定の理由と当該アクセスルートの現状及び取組方針を記載する。

2）アクセスルート上で実施する事項

(2) 国立公園内に係る事項

1) 国立公園全体の取組方針

※国立公園全体の取組方針を以下の項目に沿って記載する。本項目を見るとき国立公園でおおよそどのようなことをするのかがわかるように記載する。

①多様なサービスの提供のための民間活用

(i) ビジターセンター等公共施設の民間開放

(ii) 上質な宿泊施設の誘致

(iii) ツアー・プログラム開発とガイド育成

(iv) 利用料等の公園管理への活用

②まちなみ等の景観改善

③インバウンド対応のための施設整備等

2) ビューポイント（重点取組地域）に係る事項

①ビューポイントの設定

※冒頭に、国立公園全体で均一に取り組んでいくのではなく、重点的に取り組む地域を設定し、当該地域を大きく改善して利用者を惹きつけることが効果的であることを記載。

(i) ○○湖畔

(ii) ○○温泉街

※国立公園全体の中でのビューポイントの位置がわかる図面を記載するとともに、設定の理由を記載する。

②ビューポイント等において実施する事項

(i) ○○湖畔（適宜、(ii) ○○温泉街、(iii) …、とビューポイントを適宜追加）

※冒頭にビューポイントごとの取組方針を記載する。

※記載する事項がない場合は以下の項目を適宜削除する。

ア) 多様なサービスの提供のための民間活用

a) ビジターセンター等公共施設の民間開放

b) ツアー・プログラム開発とガイド育成

c) 利用料等の公園管理への活用

イ) まちなみ等の景観改善

ウ) インバウンド対応のための施設整備等

※分類困難な場合は同じ施策を適宜再掲する。

3) 国立公園全体に係る事項等

※国立公園全体に共通する施策やビューポイント以外に局所的に実施する事項について記載

(3) 国立公園への誘導策・プロモーションに係る事項

※取組方針を記載した上で、具体的な施策について記載する。

(4) スケジュール

※4.(1)～(3)の各施策とその実施時期を一覧表(縦軸に施策を並べ、横軸を時系列とし、実施時期の確度に応じて点線や実線で実施時期を記載するイメージ。可能な場合は開始時期も記載)として整理して記載。

5. 効果検証

- ・観光統計による毎年の訪日外国人による国立公園の推計利用者数で増加率を検証
- ・利用者アンケート等による改善点等の抽出
- ・地域協議会で情報共有の上、翌年度の取組にフィードバック

<記載にあたっての注意事項>

国からの支援にあたっては、特に、国立公園へのアクセス経路を含めた思い切った景観の改善やそのための制度の手当てについて具体的に記載することが必要

例1) ○○温泉街において、地域住民や事業者との○○温泉街の景観協定を平成○年度までに締結することを目指す(○○市)

例2) アクセスルート沿線を対象に広告物の新規設置の禁止や既存広告物の是正・撤去等を盛り込んだ屋外広告物規制条例を平成○年度までに制定することを目指す(○○県)

大山隠岐国立公園満喫PJ地域協議会体制(案)

大山隠岐国立公園満喫PJ地域協議会(親会議)

構成: 別紙のとおり

『ステップアッププログラム2020』策定

共同事務局: 鳥取県、島根県、岡山県、中国四国地方環境事務所

提案

ファイ
ドバック

ファイ
ドバック

提案

島根県満喫PJ地域部会(子会議)
(島根半島東部部会)
(島根半島西部部会)
(三瓶山部会)
(隠岐部会)

事務局: 島根県

大山蒜山三徳山満喫PJ地域部会
(子会議)

(大山蒜山三徳山部会)

事務局: 鳥取県・岡山県

★子会議は、親会議の提案を踏まえ、ビューポイントを核とした取り組み方針を議論。

★子会議は、ビューポイントの取組方針を親会議に提案。

★親会議は、子会議の提案を踏まえ、公園全体のプログラムを策定。

大山隠岐国立公園満喫プロジェクト地域協議会 設置要綱（案）

（目的）

第1条 大山隠岐国立公園において、最大の魅力である美しい自然を活かし、より上質なツーリズムを提供する、世界最高水準の「ナショナルパーク」づくりに挑戦するため、関係機関の相互連携の下、具体的なステップアッププログラム（以下、「大山隠岐国立公園ステップアッププログラム 2020」という。）を策定し、推進していくことを目的に、大山隠岐国立公園満喫プロジェクト地域協議会（以下、「協議会」という。）を設置する。

（所掌事務）

第2条 協議会は、以下に掲げる事務を行う。

- （1）「大山隠岐国立公園ステップアッププログラム 2020」の策定に関する事項
- （2）「大山隠岐国立公園ステップアッププログラム 2020」の推進に関する事項
- （3）第1条の目的を達成するために必要と認められるその他の事項

（構成員）

第3条 協議会は、別表1に掲げる関係機関等をもって構成する。

- 2 協議会は、必要に応じアドバイザーを招集することができる。

（会議）

第4条 会議は、必要に応じて事務局が招集する。

- 2 議事は、事務局において進行する。

（地域部会）

第5条 大山隠岐国立公園の各地域における具体的な事項を検討するため、必要に応じ地域部会を設置することができる。

（事務局）

第6条 協議会の事務局は、鳥取県県生活環境部、島根県県環境生活部、岡山県環境文化部及び中国四国地方環境事務所に置く。

（改正）

第7条 この要綱は、第3条に規定する協議会の構成員の発議により、協議会に出席した構成員の合意を得て、改正することができる。

（その他）

第8条 この要綱に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、別に定める。

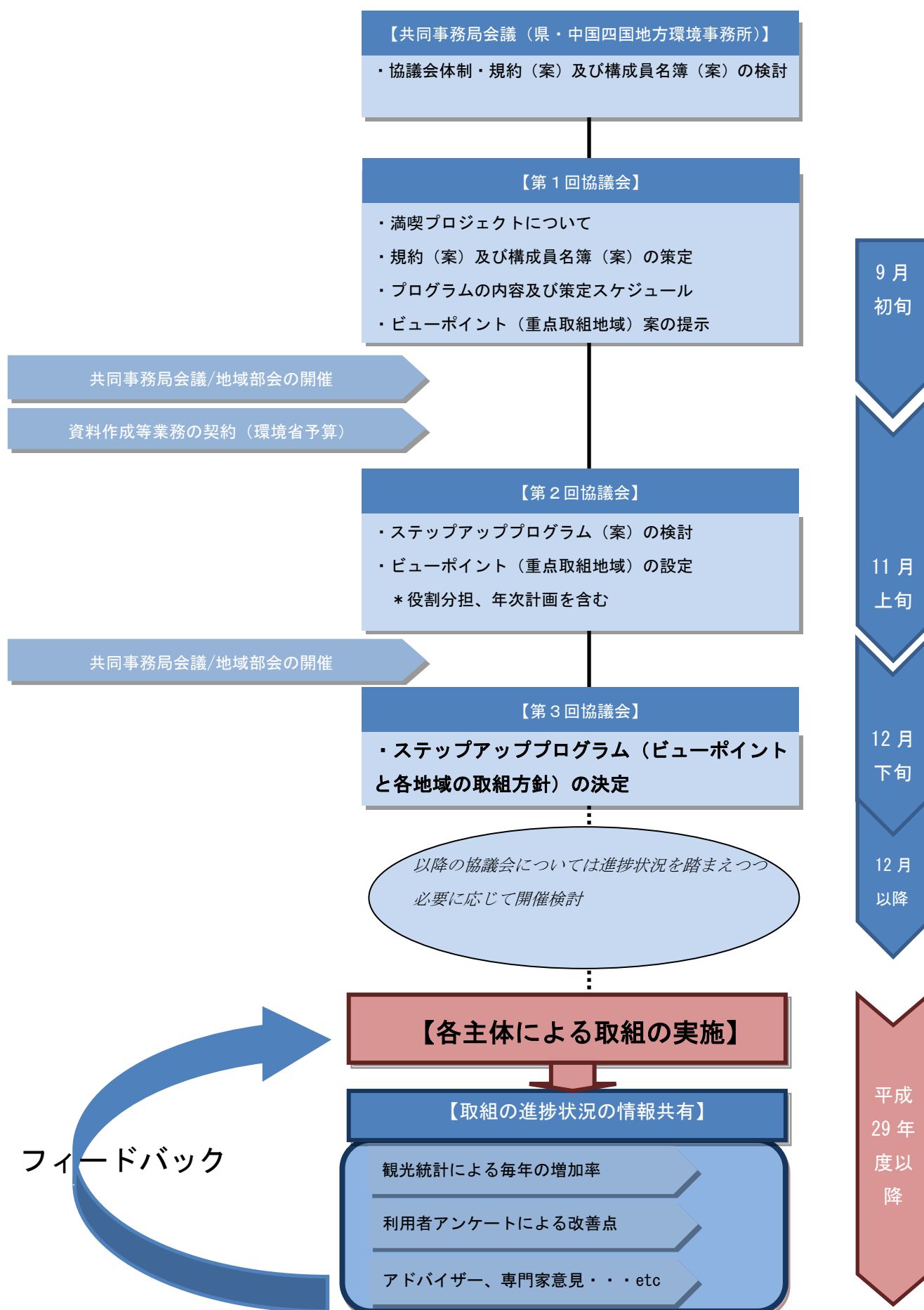
附 則 この要綱は、平成28年〇月〇日から施行する。

第3条第1項 構成員 ※赤字は調整中

構成員	
《国の機関》	
1	林野庁近畿中国森林管理局計画保全部長
2	国土交通省中国運輸局観光部長
3	国土交通省中国地方整備局企画部長
4	環境省中国四国地方環境事務所長
《地方自治体》	
5	鳥取県生活環境部長
6	鳥取県西部総合事務所長
7	島根県環境生活部長
8	島根県商工労働部長
9	島根県土木部長
10	岡山県環境文化部長
11	大山町長
12	松江市長
13	出雲市長
14	大田市長
15	隠岐の島町長
16	真庭市長
17	中海・宍道湖・大山圏域市長会 会長
《観光関係団体》	
18	山陰インバウンド機構 代表理事
19	NPO 法人大山中海観光推進機構 理事長
20	隠岐観光協会 会長
《交通事業者》	
21	西日本旅客鉄道株式会社
22	西日本高速道路株式会社
23	隠岐汽船株式会社 代表取締役

大山隠岐国立公園満喫プロジェクト地域協議会

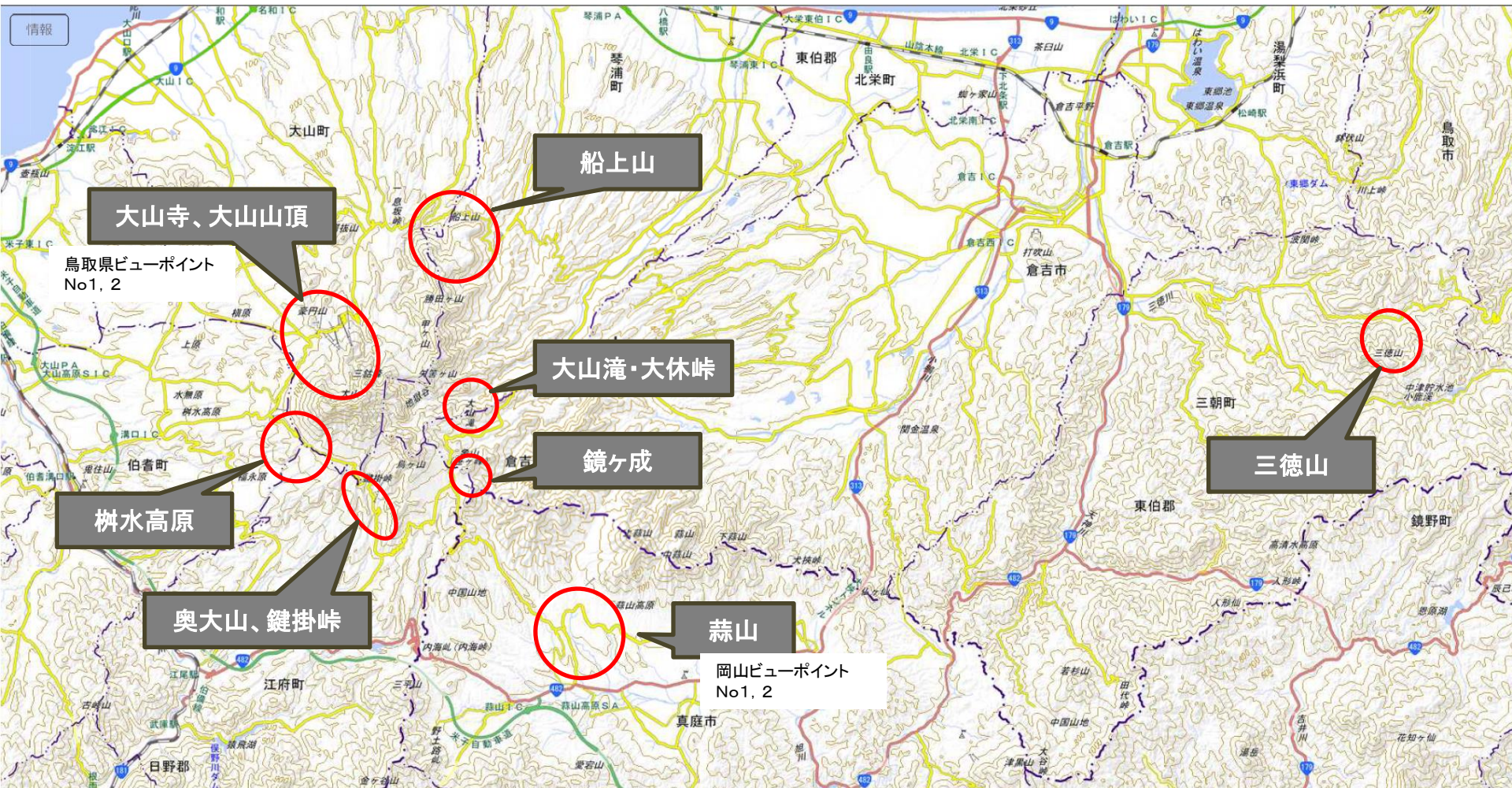
ステップアッププログラム 2020 策定フロー



大山蒜山三徳山地域ビューポイント想定

資料7

- 入り込み客が多く注目度の高い地域をビューポイントに設定し、景観改善等の重点整備を実施
- ビューポイントの設定、更なる絞り込み及び具体の整備の方向性は地域部会で検討



ビューポイントの展望

ビューポイント (満喫ポイント) の名称	大山寺地区	ビュー ポイントNo	1
1. 現状分析			
1-1. 利用形態、外国人旅行者の実態、当該ビューポイントまでのアクセス等			
<p><概要></p> <p>大山寺地区は、大山の歴史と自然を巡る旅の出発点で、大山観光の拠点となる地区です。</p> <p>古くから大山観光の拠点で、ブナ林に覆われた手付かずの自然に佇む山岳仏教の一大聖地でもあります。大山登山の基地でもあり、登山客や観光客、スキーなどアクティビティを楽しむ方など四季を通じて大山を訪れる人が集まる観光エリアとなっています。</p> <p>特に、バスターミナルや駐車場となっており平安から明治まで日本三大牛馬市で賑わった「博労座」から国重要文化財である「大神山神社奥宮」を結ぶ、老舗旅館が建ち並ぶ石畳の参道は、地蔵菩薩への信仰や牛馬市で賑わった往事を偲ばせる佇まいが残されており、仰ぎ見れば大山の荘厳な北壁を眺めることができるなど、観光客の多くが訪れる大山寺地区のビューポイントです。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>(左：散策路[参道～金門]、右上：大神山神社奥宮の逆さ門、右下：参道旅館街)</p>			

※ビューポイント1か所ごとにNoをつけ、ビューポイントごとに本様式に記載してください（ビューポイントが5か所ある場合は、別紙を5部作成すること）

※できる限り写真、図表等を使って分かりやすく記載してください



(大山寺・博労座駐車場から見た大山北壁)

<利用形態>

- グリーンシーズンは登山や野鳥観察、キャンプ、サイクリングなど自然を生かしたアクティビティ客が、冬季は西日本最大級のスキー場利用客が宿泊し、日帰り観光客のお食事や土産物販売なども建ち並ぶ中核地区として利用されている。また、大山寺本堂、大神山神社奥宮、阿弥陀堂などの文化財巡りを目的とした客も多く、大山地域の観光客は年間130万人で推移しています。

<外国人観光客の実態>

- 外国人観光客は増加しており、登山などのアクティビティを目的とした来訪が多いが、大山地域での宿泊者数は8千人/泊程度（平成27年度鳥取県外国人観光客入込動態調査より推計）であり、県内外国人宿泊者数88千人/泊の1割未満となっています。

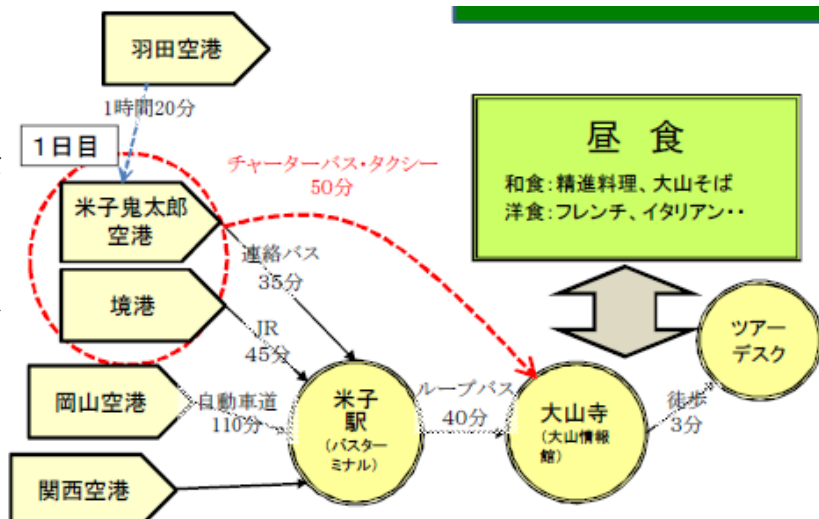
<当該ビューポイントまでのアクセス>

- 本地区は、隣接地に米子鬼太郎空港・出雲縁結び空港・隠岐空港の3空港があり、更に近接した鳥取砂丘コナン空港、萩石見空港を含めると、羽田空港から1時間15～30分1日18便が往復し、また空港から50分程度で到着が可能など、日本の国際的な窓口である東京から比較的短時間で到着できます。
- また、関西地区からはJRが外国人向け周遊パスを設定しており、JR大阪駅から約2時間30分～3時間、岡山駅から1時間45分～2時間でJR米子駅に移動でき、関西国際空港からのアクセスも充実しています。
- さらに、欧米からの観光客が訪れている広島から米子市に向け、約3時間で、中国自動車道や浜田道、松江自動車道を使った高速バス網が充実しています。
- 韓国からは週3回の国際定期便、週1回の国際定期フェリーが就航しているほか、境港では、平

※ビューポイント1か所ごとにNoをつけ、ビューポイントごとに本様式に記載してください（ビューポイントが5か所ある場合は、別紙を5部作成すること）

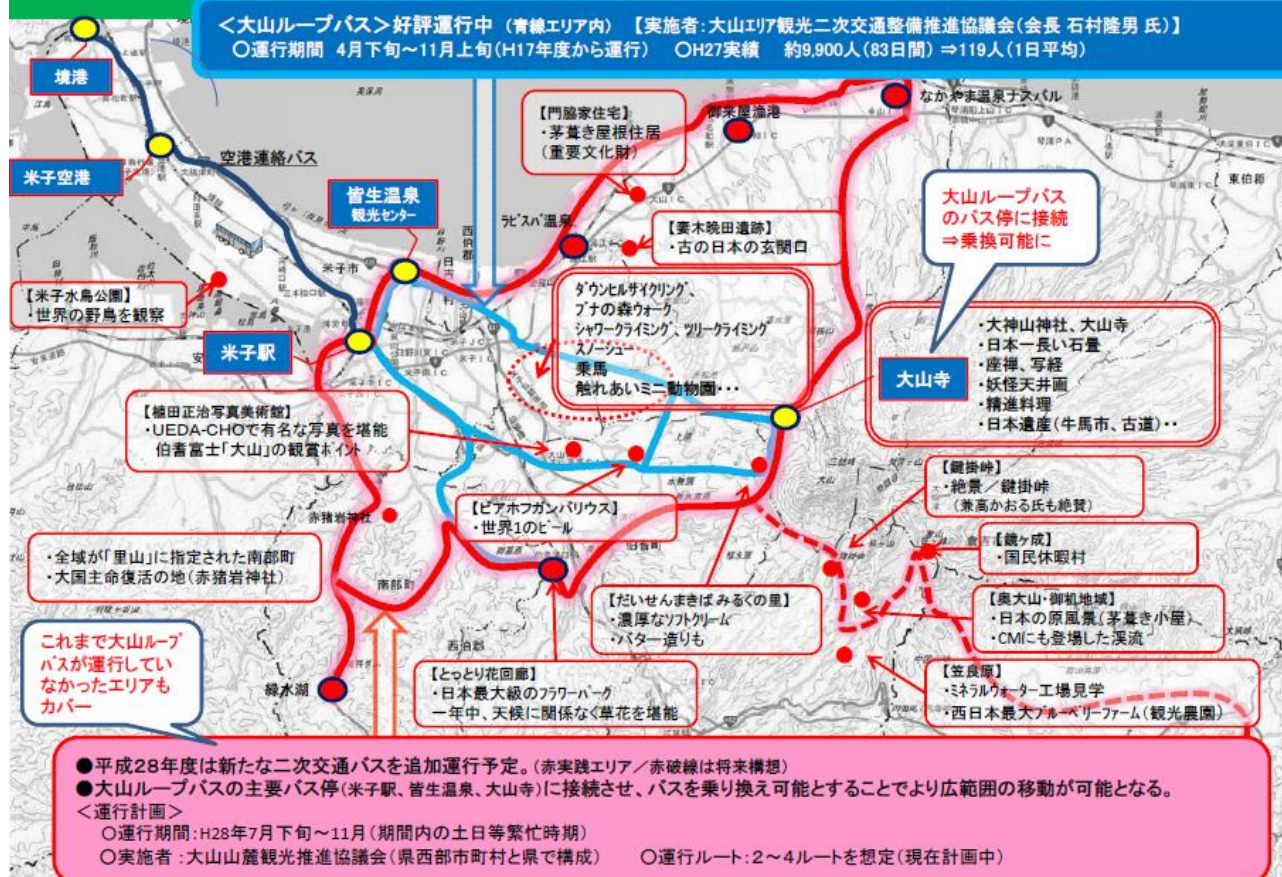
※できる限り写真、図表等を使って分かりやすく記載してください

○ 本地区への二次交通は、関西空港・広島空港からの中継地となるＪＲ米子駅からループバスで４０分。韓国からの国際定期便が就航する米子鬼太郎空港や国際定期フェリーが就航する境港からは、米子駅との連絡バス３５分＋ループバスで１時間１５分、チャーターバス・タクシーなら５０分程度です。



○ また、交通拠点交通拠点、利用拠点や宿泊拠点を結ぶルートバス等が充実しており、更に路線拡大を図る計画です。

＜大山ループバス＞好評運行中（青緑エリア内）【実施者：大山エリア観光二次交通整備推進協議会（会長 石村隆男 氏）】
○運行期間 4月下旬～11月上旬（H17年度から運行） ○H27実績 約9,900人（83日間）⇒119人（1日平均）

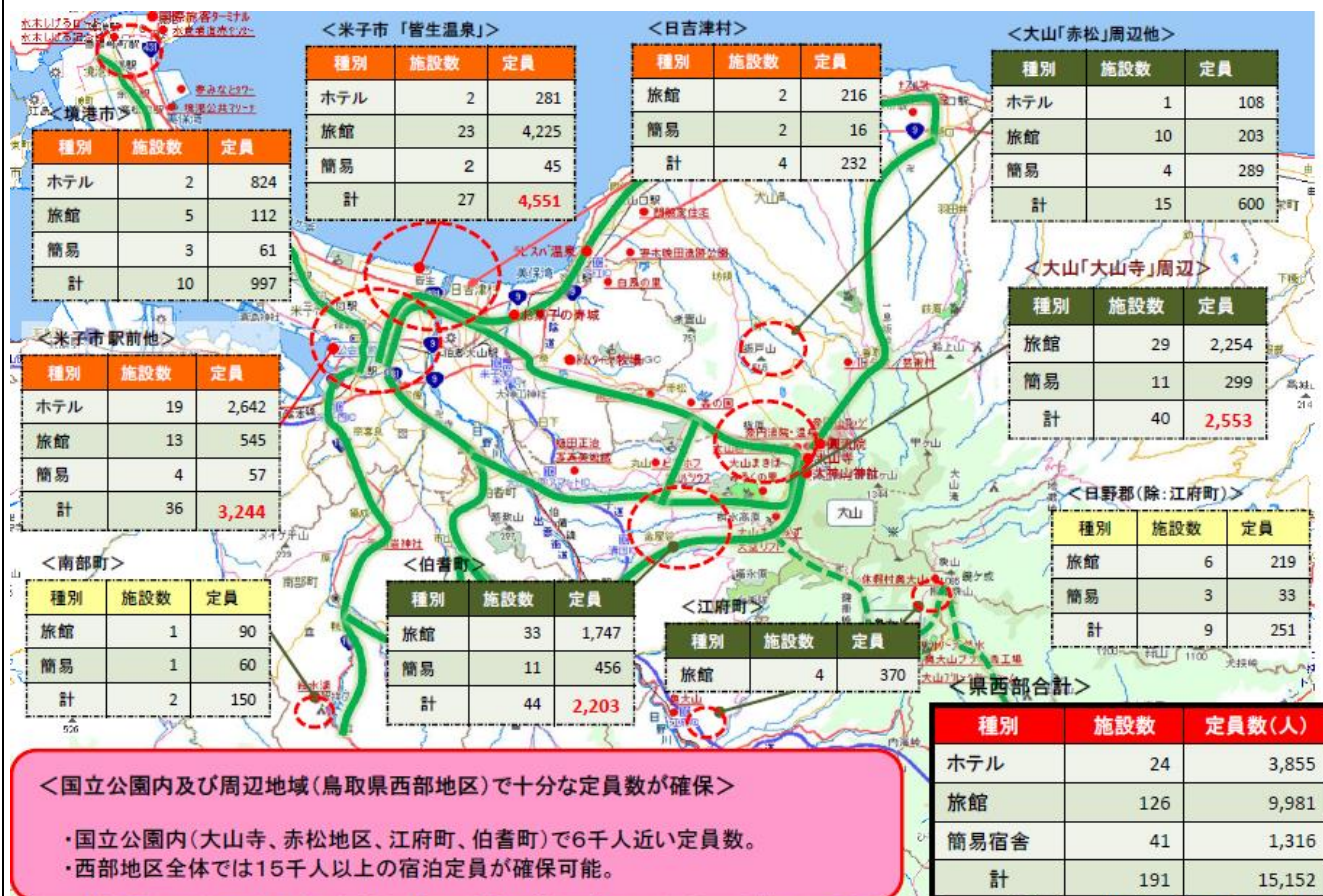


※できる限り写真、図表等を使って分かりやすく記載してください

1-2. キャパシティ

本地区は、古くからスキー客などの受け入れを目的とした宿泊施設が整備されており、地区内だけで2,553人の宿泊定員数を持っています。

また、交通拠点である米子及び知名度の高い皆生温泉が近接しており、これらも含めた鳥取県西部地区の宿泊収容人数は1万5千人を超えており、今後想定されるインバウンド客の増加に十分対応できるキャパシティを持っています。



1-3. アドバンテージ(長所)と克服すべきポイント

西日本随一の標高を誇る大山は、その独立峰ゆえの美しさからNHKの「日本名峰ランキング」で富士山、槍ヶ岳に続きベスト3に選ばれ、CNNの「日本の最も美しい場所31選」に選定されるなど国内外に認められた秀峰で、多くの登山客を魅了しています。

この登山客の拠点基地が大山寺地区であり、グリーンシーズンは登山客で賑わう一方、冬季は西日本最大級のスキー場の利用客が詰めかけるなど、四季を通じて利用者が訪れます。

また、大山寺地区を中心とした山麓地域は古くから山岳宗教の中心地として栄え、歴史的建造物や遺構のほか今に伝えられている伝統文化などが評価され本年4月に日本遺産に認定されました。

この歴史文化の探訪を目的とした観光客も数多く訪れており、本地区は日本の伝統文化、豊かな自然、更にこれらを活用したアクティビティを満喫できるエリアです。

今後増加が見込まれる訪日外国人観光客が、日本人同様に本地区を基地として活用していただく場合、以下の課題の解決が必要となっています。

※ビューポイント1か所ごとにNoをつけ、ビューポイントごとに本様式に記載してください(ビューポイントが5か所ある場合は、別紙を5部作成すること)

※できる限り写真、図表等を使って分かりやすく記載してください

2-2. 克服すべきポイントに対する対策

② ツアーデスク及びガイドの多言語対応の推進

大山寺地区に設置されたツアーデスクを強化し、ガイドの多言語対応化を図るとともに、パンフレット等の多言語対応も推進。



④ 未整備の外国語表記案内板の集中整備

大山寺を起終点とした登山道、遊歩道や展望施設等の案内看板を多言語表記とするとともに、デザインに統一性を持たせイメージアップを図る。



※ビューポイント1か所ごとにNoをつけ、ビューポイントごとに本様式に記載してください（ビューポイントが5か所ある場合は、別紙を5部作成すること）

※できる限り写真、図表等を使って分かりやすく記載してください

⑤ 紅葉シーズンにマイカーを規制した「パーク&バスライド」による社会実験を実施

本地区にアクセスする大山環状道路は、秋の紅葉シーズンはマイカーによる大渋滞が発生し、環境への悪影響や観光客の満足度の低下が懸念される。このため、紅葉シーズンのピークとなる時期にマイカーの通行を規制しシャトルバスを運行する社会実験を平成27年度から始めたところ。

【主体】

大山環状道路自動車利用適正化社会実験協議会（県、関係町、国機関、観光協会、旅館組合等）

【時期】

紅葉シーズンの1日（平成27年10月31日（土）、平成28年10月29日（土）〔予定〕）

平成27年度実施の状況

シャトルバス運行区間：奥大山スキー場～大山寺（13.5km）（15分間隔）

〇バス料金：500円（1日乗り・降り放題）

《実験結果》

〇バス利用者からは、「車の騒音や排気ガスを気にすることなく、ゆっくり紅葉を楽しむことができた」等の意見が多数あり、概ね好評。

〇ルートの途中でバスの乗降が可能であり、見どころでの「スポットガイド」や「ガイドマップの配布」の効果で途中下車して散策する方もあり、「普段は通行車両が危険で歩けないルートを安心して歩け、楽しかった。」「起点終点に地元の産物が販売されておりよかった。」の声も。



※ビューポイント1か所ごとにNoをつけ、ビューポイントごとに本様式に記載してください（ビューポイントが5か所ある場合は、別紙を5部作成すること）

※できる限り写真、図表等を使って分かりやすく記載してください

ビューポイント (満喫ポイント) の名称	大山山頂	ビュー ポイントNo	2
1. 現状分析			
1-1. 利用形態、外国人旅行者の実態、当該ビューポイントまでのアクセス等			
<p><概要></p> <p>大山は、山頂に立ったときの広々とした金碧の日本海、弓ヶ浜からつづく島根半島や彼方の隠岐の島など、雄大な展望性がすばらしく、目を転ずれば蒜山三座をはじめとする中国山地の秀麗な山々が一望の下に俯瞰できる。また、登山ルートは、西日本最大級のブナ林が特別天然記念の大山キャラボク林に推移していく姿や壁の荒々しい景観を眺めることができ、山頂でなだらかに変化するなど登山客を魅了してやみません。</p>  <p>(山頂登山道から見た弓ヶ浜、島根半島)</p>  			

※ビューポイント1か所ごとにNoをつけ、ビューポイントごとに本様式に記載してください（ビューポイントが5か所ある場合は、別紙を5部作成すること）

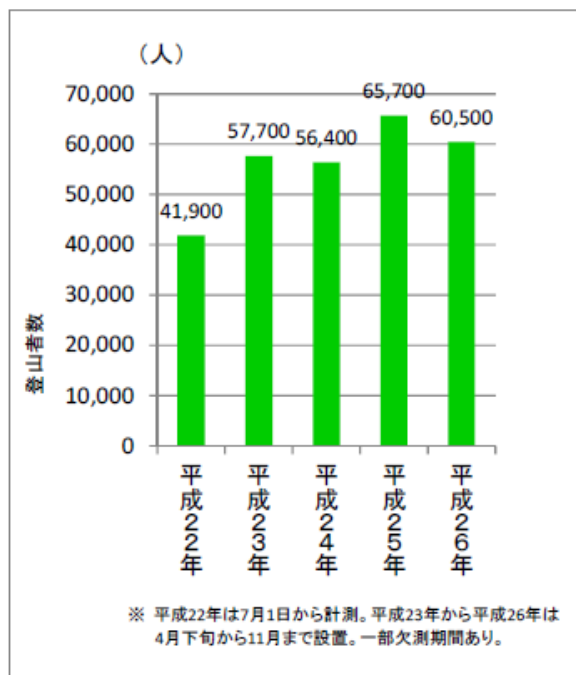
※できる限り写真、図表等を使って分かりやすく記載してください

<利用形態>

- 大山地域に数ある登山道のなかで山頂へのルートは「夏山」「行者」に限られており、いずれも大山寺地区を起点としながら迂回や周回など選択が可能なことから、ベテラン登山客と小中学生の授業登山が同行するなど幅広い観光客に親しまれており、年間6万人の登山客が訪れています。

<外国人観光客の実態>

- 韓国の登山ブームを受け、韓国人観光客の登山が増加。ごく少数ではあるが欧米系観光客もコンスタントに訪れるなど、外国人観光客は増加しているが登山客全体の1割未満となっています。



大山登山者数

出典: 環境省 大山登山者カウンター

<当該ビューポイントまでのアクセス>

- 基地となる大山寺から登り2時間30分、下り2時間程度。
- 登山道は比較的整備が進んでいるが、危険防止の面から登山靴や山行きの服装が必要。



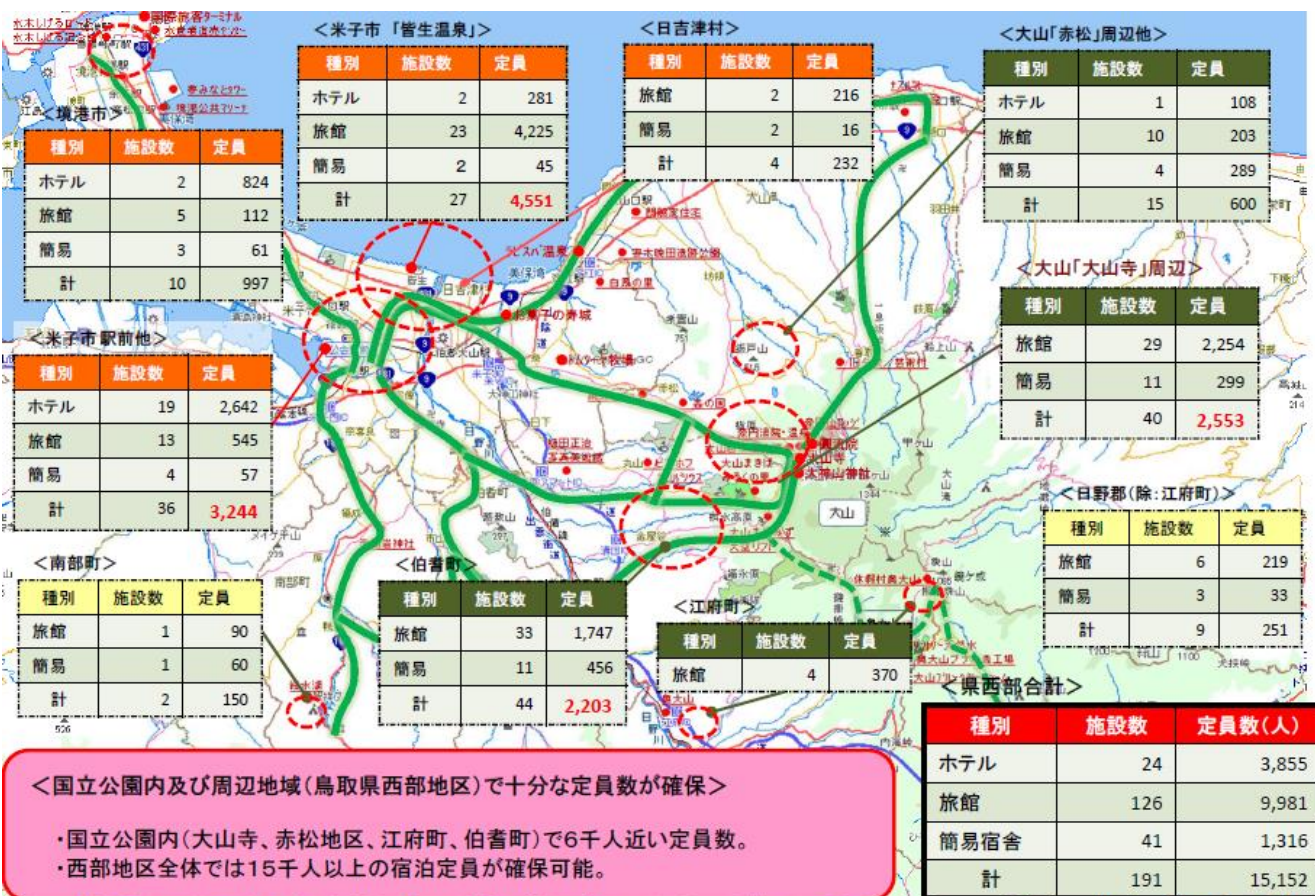
※ビューポイント1か所ごとにNoをつけ、ビューポイントごとに本様式に記載してください（ビューポイントが5か所ある場合は、別紙を5部作成すること）

※できる限り写真、図表等を使って分かりやすく記載してください

1-2. キャパシティ

山頂の基地となる大山寺地区は、古くからスキー客などの受け入れを目的とした宿泊施設が整備されており、地区内だけで2,553人の宿泊定員数を持っています。

また、交通拠点である米子及び知名度の高い皆生温泉が近接しており、これらも含めた鳥取県西部地区の宿泊収容人数は1万5千人を超えており、今後想定されるインバウンド客の増加に十分対応できるキャパシティを持っています。



1-3. アドバンテージ(長所)と克服すべきポイント

西日本随一の標高を誇る大山は、その独立峰ゆえの美しさからNHKの「日本名峰ランキング」で富士山、槍ヶ岳に続きベスト3に選ばれ、CNNの「日本の最も美しい場所31選」に選定されるなど国内外に認められた秀峰で、多くの登山客を魅了しています。

また、古くから「神巫す山」として大切に守られたため、現在に引き継ぐことができた西日本最大面積を誇るブナ林(白神山地に匹敵)と、そこに由来する豊富な水資源、これらに息づくゼフィルス類などの希少動植物の存在は日本を代表する貴重な自然環境・景観であり、山頂台地の特別天然記念物(大山キャラボク林)はこの象徴です。

また、登山者や官民一体となった昭和52年からの「大山一斉清掃」、昭和60年からの「大山一木一石運動」など全国の先駆けとなる自然保護活動は現在でも続けられ、更に「キャリアダウン・キャリアアップ運動」が新たに始まるなど拡大しています。

これらの運動により山頂の植生回復が図られた結果、平成26年度に大山山頂で「ヒメボタル」の生息が確認され、現在生育調査が行われているところであり、市民活動の大きな成果の一つと言えます。

※ビューポイント1か所ごとにNoをつけ、ビューポイントごとに本様式に記載してください(ビューポイントが5か所ある場合は、別紙を5部作成すること)

※できる限り写真、図表等を使って分かりやすく記載してください

す。

今後増加が見込まれる訪日外国人観光客にも、この自然環境を体感していただき、更なるリピーターの確保を図る必要がありますが、インバウンド増に伴う自然環境への負荷の増大が懸念されるなど、克服すべきポイントは重要な課題となっています。

- ① 増加する登山客による山頂台地や登山道の荒廃
- ② 外国人客が快適に使える山頂小屋や登山道施設の施設整備
- ③ 外国人でも安心して登山できる通訳案内士などのガイドの育成

2. 対策

2-1. アドバンテージをさらに伸ばすための対策

① 登山者など利用者を巻き込んだ環境保全活動の展開

大山では、年間6万人を超える登山者など国内外の多くの山岳関係者や自然愛好者等に愛される魅力的な自然環境の利活用と、効果的な環境保全活動を両立させている。特徴的な取り組みとして、登山者一人ひとりが登山を楽しみながら環境保全のために少しでも余分に汗をかくプログラムを継続的に実施しており、自然環境保全への新しいアプローチとして注目されている。これに、外国人登山客にも参加していただき、単に登山だけでなく独自の「日本文化」を体験していただきます。

(1) 山頂植生の回復「一木一石運動」

【現 状】

○中国地方最高峰の大山は、国立公園の指定や日本百名山への選定などをうけ、昭和40年代から登山者が急増したため山頂付近の高山植物群落が踏み荒らされ、昭和50年代には山頂付近が裸地化し、土壌浸食や土壌流出による崩落が大きな問題となった。

○昭和60年に自然保護団体や行政機関などで「大山の山頂を保護する会」を結成し、登山者一人ひとりが、山頂の植生回復に使用する木1本、石1個を持って登る「一木一石運動」をスタートさせた。

○運動の成果により山頂付近の植生はおおむね回復してきたが、かつての状況に近づけるために現在も地道な活動を継続している。

【主 体】

大山の山頂を保護する会：環境省、鳥取県、米子市、大山町、伯耆町、江府町、琴浦町、森林管理署、教育委員会、教育施設、大山遭難救助隊、大山ガイドクラブ、民間バス会社・電力会社、地元旅館組合、自然保護団体、ライオンズクラブ、蒜山休暇村、造園協会、国立公園協会など33団体

※ビューポイント1か所ごとにNoをつけ、ビューポイントごとに本様式に記載してください（ビューポイントが5か所ある場合は、別紙を5部作成すること）

※できる限り写真、図表等を使って分かりやすく記載してください

【内容】

**一人一人が
持ち上げた
一石で造成**



**活着の良い
ヤマヤナギ
(一木)の植栽**



**オオバコなど
外来植物の
除去**



■大山頂上の保護活動 ～一木一石運動によって甦ってきた、山頂の自然～

一木一石運動



頂上でのこも伏せ作業

わらでできた「こも」を山頂の乾いた地面に伏せることで、植生が活着しやすい土壌環境となる。

その他の活動



外来植物の除去作業
オオバコなど諸の外来植物の種子が、登山者に付着し持ち込まれる。

復元植生調査(定期的に実施)

頂上へ！



頂上小屋横の石置場

ヤマヤナギ(一木)の植栽作業
試行錯誤の末、ヤマヤナギの活着と生育が一番良いことが解った。

頂上へ！



ヤマヤナギ(一木)の育成作業

活動の成果

Before
昭和60年



**After
平成20年**



(2) 頂上トイレ汚泥のキャリーダウン運動と木道整備資材のキャリーアップ運動

【現 状】

〔キャリーダウン運動〕平成20年度～平成25年度

○山頂の避難小屋で平成14年から水洗エコトイレの供用を開始したが、平成20年には堆積した汚泥の抜き取り処理が必要となった。

○当初はヘリコプターによる汚泥の搬送を計画していたが、大山周辺に生息する希少猛禽類をはじめとする野生動植物の生息環境への負荷軽減を図る方法を模索し、登山者一人ひとりが下山時に少しずつ汚泥を搬送するボランティア運動を実施することとした。

〔キャリーアップ運動〕平成26年度～平成27年度

○山頂付近の植生は「一木一石運動」により回復してきたが、特別天然記念物「ダイセンキアラボク」などの貴重な植物の保護対策も必要。そこで、昭和52年から木道を約1,000メートル整備してきたが、多くの登山者の歩行と積雪期のアイゼン使用で激しく損傷摩耗するため継続的な補修が不可欠。

○キャリーダウンにより汚泥処理が一段落したため、第2弾として登山者一人ひとりが登頂時に少しずつ木道の資材を搬送するボランティア運動を実施することとした。

※ビューポイント1か所ごとにNoをつけ、ビューポイントごとに本様式に記載してください(ビューポイントが5か所ある場合は、別紙を5部作成すること)

※できる限り写真、図表等を使って分かりやすく記載してください

【主 体】

鳥取県、環境省、大山町、自然公園財団等が連携して実施。

【内 容】

〔キャリアダウン運動〕

汚泥を2リットルボトルに詰め運搬

(6年間で4.1トン、延べ1,815人が参加)

〔キャリアアップ運動〕

木道の補修資材(栈木)をボランティアが担ぎ上げる取組を実施。

(平成26、27年度に長さ50cm～1mの栈木1,020本、延べ409名が参加)



(3) 将来的な構想

○木一石運動からキャリアアップ運動に至る大山の取り組みが、自然環境保全への新しいアプローチとして注目されマスコミ等で取り上げられたことにより、「利用者も一体となって自然環境を守っている国立公園大山」というプラスイメージを全国に発信でき、また、運動の参加者からも達成感や充実感などの高い評価を得ている。

○行政等による基礎的な環境保全を充実させていく一方で、環境保全の啓発効果、大山の知名度アップ、保護活動のマンパワー補完等を狙いながら、今後とも利用者と連携したプログラムを積極的に仕掛けていく。



2-2. 克服すべきポイントに対する対策

② 外国人客が快適に使える山頂小屋などの施設整備

山頂の唯一の休憩施設(避難小屋)に整備した水洗トイレを和式から洋式に改修し、和式トイレに抵抗感のある欧米系外国人登山客の利便性を図る。

水洗トイレ2基、くみ取り式1基のいずれも和式。

(イギリス系外国人コメント)

和式は使ったことがなく、ズボンを汚しそうで不安!



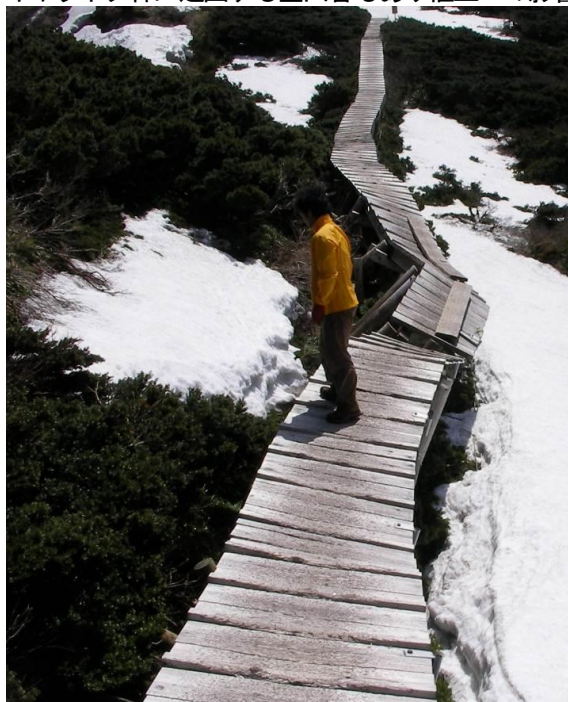
※ビューポイント1か所ごとにNoをつけ、ビューポイントごとに本様式に記載してください(ビューポイントが5か所ある場合は、別紙を5部作成すること)

※できる限り写真、図表等を使って分かりやすく記載してください

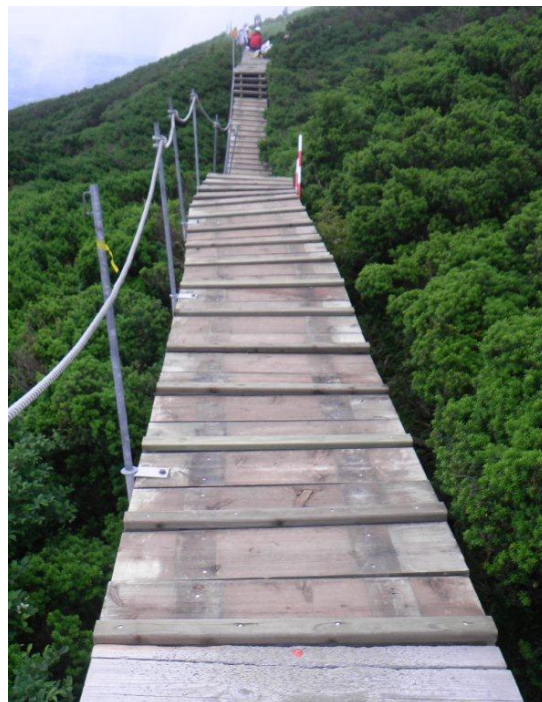
雪圧などで傾いた山頂木道を改修し、安全な歩行を確保するとともに、植生内の立ち入りを未然に防止する。

＜雪圧などで傾いた木道＞

→キャラボク林に迂回する登山客もあり植生への影響も懸念



＜傾きを戻し改修＞



③ 外国人でも安心して登山できる通訳案内士などの登山ガイドの育成



大山寺地区に設置されたツアーデスクを強化し、通訳案内士等のガイド養成を図るとともに、パンフレット等の多言語対応やピクトグラム等の導入も推進。



※ビューポイント1か所ごとにNoをつけ、ビューポイントごとに本様式に記載してください（ビューポイントが5か所ある場合は、別紙を5部作成すること）

※できる限り写真、図表等を使って分かりやすく記載してください

ビューポイントの展望

ビューポイント (満喫ポイント) の名称	蒜山三座	ビュー ポイントNo	1
1. 現状分析			
1-1. 利用形態、外国人旅行者の実態、当該ビューポイントまでのアクセス等			
<p>【利用形態及び観光資源】</p> <p>蒜山三座は西から上蒜山、中蒜山、下蒜山と並び、それぞれに登山口があり、縦走や単独など目的に合った登山・ハイキングが楽しめる。山頂からは大山や烏ヶ山などのすばらしい眺望が広がる。また麓ではキャンプ、スキーなど野外レクリエーションのフィールドが整備されている。</p> <p>【外国人旅行者の実態】</p> <p>当該公園を訪れる外国人旅行者も、登山等野外レクリエーションを目的としていると思われる。</p> <p>【海外からのアクセス】</p> <p>関西国際空港から鉄道、車を利用し、3時間40分程度 岡山空港から車を利用し、1時間30分程度</p>			
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-end;"> <div style="text-align: center;">  <p>(蒜山三座)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>(中蒜山から上蒜山へ)</p> </div> </div>			
1-2. キャパシティ			
<p>国立公園地域内には、国民休暇村があり、和洋室を備え390人が宿泊可能。その他にも蒜山地域には旅館、ゲストハウス、ペンション、リゾートホテル等、様々なタイプが用意され、合計約千人が宿泊でき、利用者の多様なニーズにも対応可能。更に、近隣に全国露天風呂番付西の横綱の湯原温泉もあり、利用者の増加にも対応できる。</p>			

※ビューポイント1か所ごとにNoをつけ、ビューポイントごとに本様式に記載してください（ビューポイントが5か所ある場合は、別紙を5部作成すること）

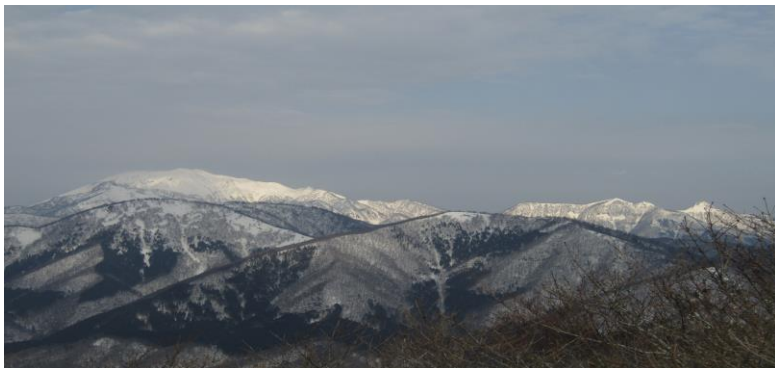
※できる限り写真、図表等を使って分かりやすく記載してください

1-3. アドバンテージ（長所）と克服すべきポイント
<p>西日本屈指のリゾート地である蒜山は、広大な牧草地に放牧されたジャージー牛や蒜山の高原美を一望できる観光名所である。また、大自然に囲まれた三木ヶ原を中心に、乗馬、遊園地やバーベキュー、サイクリングといった多彩なアウトドアが楽しめるレジャースポットである。</p> <p>蒜山の各登山道では階段や案内標識等、老朽化している施設が目立つ。また案内看板は多言語化できておらず、外国人の来訪に対応できていない状況である。</p>
2. 対策
2-1. アドバンテージをさらに伸ばすための対策
<p>大山エリアと連携し、多彩な魅力を持つエリアとして発信していく。</p>
2-2. 克服すべきポイントに対する対策
<p>老朽化した施設を再整備するとともに案内看板の多言語化を行う。</p>

※ビューポイント1か所ごとにNoをつけ、ビューポイントごとに本様式に記載してください（ビューポイントが5か所ある場合は、別紙を5部作成すること）

※できる限り写真、図表等を使って分かりやすく記載してください

ビューポイントの展望

ビューポイント (満喫ポイント) の名称	蒜山からの眺望	ビュー ポイントNo	2
1. 現状分析			
1-1. 利用形態、外国人旅行者の実態、当該ビューポイントまでのアクセス等			
<p>【利用形態及び観光資源】</p> <p>当該公園は、登山、ハイキング、キャンプ、スキーなど野外レクリエーションのフィールドとして整備されている。</p> <p>【外国人旅行者の実態】</p> <p>当該公園を訪れる外国人旅行者も、登山等野外レクリエーションを目的としていると思われる。</p> <p>【海外からのアクセス】</p> <p>関西国際空港から鉄道、車を利用し、3時間40分程度 岡山空港から車を利用し、1時間30分程度</p>			
			
<p>ルート上からは、大山連峰の峰々を一望することができるポイントがある。</p>			
1-2. キャパシティ			
<p>鏡ヶ成蒜山縦走線は昭和37年の岡山国体の登山競技に用いられるほど魅力あるルートであったが、当時から登山者はピークハントを好む傾向が強かったことから利用が伸びず、廃道寸前の状態に陥っている。しかしながら、ルート周辺の植生や眺望はすばらしく、また下蒜山から鏡ヶ成だけでも15kmの長距離遊歩道が成立し、また烏ヶ山や大山までを含めることができれば、まさに西日本屈指の長距離遊歩道が成立し、国内外に大きくPRすることができる。</p>			
1-3. アドバンテージ（長所）と克服すべきポイント			
<p>なんといっても大山連峰を一望できる数少ないロケーション。ただし、現況は雑木が繁茂している。</p>			
2. 対策			
2-1. アドバンテージをさらに伸ばすための対策			
<p>鳥取県と連携し、西日本屈指のロングトレイルとして発信していく。</p>			
2-2. 克服すべきポイントに対する対策			
<p>眺望を確保するため一部で雑木を伐採する必要がある。</p>			

※ビューポイント1か所ごとにNoをつけ、ビューポイントごとに本様式に記載してください（ビューポイントが5か所ある場合は、別紙を5部作成すること）

※できる限り写真、図表等を使って分かりやすく記載してください

隠岐地域・島根半島西部地域・東部地域・三瓶山地域ビューポイント想定

資料8

○ビューポイントの設定、具体的な整備の方向性等は、地域部会で検討



ビューポイントの展望

ビューポイント (満喫ポイント) の名称	隠岐地域 「国賀海岸」	ビュー ポイントNo	1
----------------------------	-------------	---------------	---

1. 現状分析

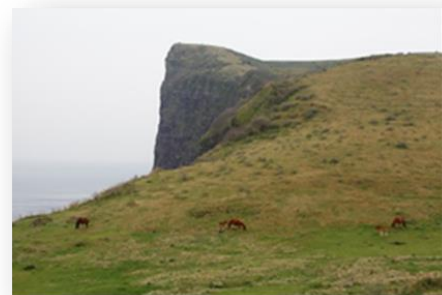
1-1. 利用形態、外国人旅行者の実態、当該ビューポイントまでのアクセス等

(1) ビューポイントの概要



国賀海岸

- ・国賀海岸（国文化財）の南側の突き出した半島からは摩天崖・通天橋・天上界・国賀浜を一望することが出来る人気スポットです。周辺の放牧地では、牛馬がのんびり草を食べる姿が見られます。



※ビューポイント1か所ごとにNoをつけ、ビューポイントごとに本様式に記載してください（ビューポイントが5か所ある場合は、別紙を5部作成すること）

※できる限り写真、図表等を使って分かりやすく記載してください

(2) ビューポイントまでの交通機関

七類港（島根県松江市美保関町） ～ フェリー（隠岐汽船） ～ 別府港（隠岐郡西ノ島町）
 （2時間30分）
 別府港 ～ 町営バス ～ 浦郷 ～ 徒歩 ～ 国賀海岸
 （25分） （3分）

(3) ビューポイントに訪れる外国人の数・国籍・意識調査等

【外国人客数】H27年約500名

【国籍】H26年アメリカ、インド、中国、ロシア etc

【アンケート結果】

- ・隠岐の絶景は日本のイメージと違う！
- ・ユニークな文化、歴史、伝統、生活に引かれた！牛突きや相撲に興味がある。
- ・旅行が大好きだけど、観光客がたくさんいる場所はイヤ。隠岐ではゆっくりできるし、都会で味わえない本当の日本がある。様々なアクティビティーがある。ハイキング、シーカヤック、ダイビング

※外国人の意識調査：別添「世界のメガネで隠岐を見よう」（ニコラ・ジョーンズ）

1-2. キャパシティ

隠岐地域の代表的な観光資源と宿泊施設



※ビューポイント1か所ごとにNoをつけ、ビューポイントごとに本様式に記載してください（ビューポイントが5か所ある場合は、別紙を5部作成すること）

※できる限り写真、図表等を使って分かりやすく記載してください

1-3. アドバンテージ（長所）と克服すべきポイント

(1) アドバンテージ（長所）

隠岐島地域は、平成 25 年 9 月に隠岐世界ジオパークとして認定され、現在はユネスコの正式事業として「隠岐ユネスコ世界ジオパーク」と名称を変更し、海外からの観光客にも対応した環境整備（ハード・ソフト両面）を 4 島各地で実施しています。

【国賀海岸】

隠岐を代表する景勝地であり国の文化財に指定されている海岸です。巨大なナイフで垂直に切りきったような高さ 257m の大絶壁「摩天崖」や海に大きくせり出した岩の架け橋「通天橋」などは、圧巻のビューポイントです。また、船頭さんの名調子で定期観光船により海から眺める国賀めぐりも大人気です。その他、国賀めぐりの定期観光バスもあります。

国賀海岸は、H28 年度～29 年度、環境省の直轄事業で、遊歩道、休憩所、案内看板等の整備を行い、景観に配慮した施設や案内看板、多言語化対応となり、外国人観光客対応が可能となります。（同様の環境省直轄工事は、隠岐島前の赤ハゲ山（知夫村）、隠岐島後の浄土ヶ浦海岸（隠岐の島町）でも実施されます。）

【参考】～外国人を魅了する隠岐諸島の文化の存在～

○牛突き日本最古で約 800 年の歴史を持つ伝統文化

1 年に 4 回の本場所大会をはじめ、島の観光イベント・観光用牛突きなどで観ることができます。

- ・ 場所：隠岐モーモードーム
- ・ 本場所大会：牛突き春場所大会、牛突き夏場所大会、八朔牛突き大会、一夜嶽牛突き大会

○隠岐民謡

隠岐の島町は全国に誇れる民謡の宝庫。毎年 5 月、島を挙げてのしげさパレードは圧巻です！ 出前講演や民謡体験も行っています。

○隠岐国分寺蓮華舞

平安時代から伝承される貴重な芸能で、国の重要無形民俗文化財に指定されています。毎年 4 月 21 日に隠岐国分寺本堂前の特設舞台で行われる奉納の舞が公開されています。

○隠岐古典相撲

神社遷宮や大きなプロジェクトの完工など、住民共通の慶祝事業に伴って様々な場所で行われます。丸一日かける徹夜の大イベント！一晩の塩の使用量は多い時では 1 トンに及びます。同じ力士が 2 度連続して取り組み、先に勝った方が 2 度目の勝ちを相手に譲る「人情相撲」でもあります。

隠岐観光株式会社 **ときめき、感動。**

島津かんこう観光サービス
☎ 08514-6-0016 (浦郷)
08514-7-8412 (別府)
〒769-0208 隠岐県 隠岐市 浦郷 1-4-2018
http://www2.ocn.ne.jp/~okikankou/

国賀めぐり定期観光船
スケール感抜群の国賀海岸を船頭さんの名調子と共にめぐろう！

浦郷丸 Aコース
浦郷港→船引運河→国賀海岸(鬼ヶ城・摩天崖・通天橋・天上界・明暗の岩屋)→船引運河→浦郷港
【時間・便】①8:30～10:00 ②10:40～12:10 ③13:10～14:40 ④15:10～16:40
【所要時間】1時間30分 【期間】①⑦7月16日～8月31日のみ ②④4月1日～10月31日
【料金】大人2,500円 小人1,250円

別府丸 Bコース
別府港→(兼浦港経由※要予約)→東国賀海岸(星神島・錦ヶ浦・つばめ御殿・三枚屏風)→国賀海岸(鬼ヶ城・摩天崖・通天橋・天上界・明暗の岩屋)→船引運河→浦郷港
【時間・便】①10:20～12:30 ②13:00～15:10 【所要時間】2時間10分
【期間】4月1日～10月31日 【料金】大人3,300円 小人1,650円
※乗船時化による欠航の確立、観光バスが運行されます。船からの観光をお楽しみください。
※別府港～浦郷港は公共交通(路線バス、タクシー等)をご利用ください。

国賀めぐり定期観光バス
ロケーション抜群の国賀海岸など島の見どころをめぐろう！

浦郷港→赤尾展望所→摩天崖又は国賀浜・通天橋→由良比女神社→浦郷港
【時間・便】①13:10～14:50 ②15:10～16:50 【所要時間】1時間40分
【期間】4月1日～10月31日 【料金】大人2,500円 小人1,250円
※別府港～浦郷港は公共交通(路線バス、タクシー等)をご利用ください。



※ビューポイント 1 か所ごとに No をつけ、ビューポイントごとに本様式に記載してください（ビューポイントが 5 か所ある場合は、別紙を 5 部作成すること）

※できる限り写真、図表等を使って分かりやすく記載してください

【玉若酢神社】～隠岐の島に残る神事～

隠岐の開拓にかかわった玉若酢命（たまわかすのみこと）を祀る神社。

参道の神門をくぐると右側にある八百（やお）杉は樹齢二千年と言われ、人魚の肉を食べた八百比丘尼が植えた杉で、根本の洞穴には大蛇が閉じ込められ木の中から大蛇の大きいきが聞こえてくると伝えられています。

玉若酢命神社の本殿は、隠岐にある神社の最古のもので、造営は寛政5年（1793）で、隠岐造りといわれる建築形式。国の重要文化財に指定されています。

毎年6月5日の御霊会（ごれえ）風流には、勇壮な馬入れ神事、流鏑馬（やぶさめ）、神輿（みこし）の行列があり、近郷の人々が集まって賑わいます。この神社の祭礼前までに、隠岐の田植えは終わっているといわれ、季節の一つの区切りの日になっています。



（2）克服すべきポイント

今後、克服すべきポイントとしては、次の4つの点を考えています。

- ① 国内外の認知度を更に向上させる必要がある
- ② 外国語対応を更に向上させる必要がある
- ③ 来島者の満足度を更に向上させる必要がある
- ④ 地域への啓発を更に行う必要がある

2. 対策

2-1. アドバンテージを更に伸ばすための対策

隠岐諸島の場合は、外国人観光客を呼ぶこむためには、一つのビューポイントだけでなく、島全体での取組みが重要となります。

○施設整備

環境省直轄事業のほかに、右表のように4島全域で、遊歩道、トイレ（様式化・洗浄便座化）、休憩所、駐車場の整備に取り組みます。この他、Wi-Fi 設備の整備、英語表記の案内板、多言語案内システムや多言語バーチャルジオツアーシステムの構築、通訳案内士の養成、認定ジオガイドの資格取得の促進などに取り組みます。



○情報発信（プロモーション活動）

・東京や広島を始めとする島外で開催される観光情報説明会、商談会、隠岐人会・島根県人会等の各種イベントにおいて、隠岐ユネスコ世界ジオパークの取組みを紹介します。

具体的には、ホームページやフェイスブックを活用した情報発信やジオパーク博覧会、フォトコンテスト等を開催するほか、島外でのジオパークフェスタ、講演会、検定、ラッピングバスの運行等を行います。

※ビューポイント1か所ごとにNoをつけ、ビューポイントごとに本様式に記載してください（ビューポイントが5か所ある場合は、別紙を5部作成すること）

※できる限り写真、図表等を使って分かりやすく記載してください

・メディアを活用して隠岐ユネスコ世界ジオパークのPRを行う際、コンテンツやタイミングを考慮し、訴求力のある内容で情報発信することが重要です。新聞、雑誌（特に観光分野）、テレビ、ラジオ等の特性を活かし、隠岐ユネスコ世界ジオパークの魅力を効果的に発信し、誘客に取り組みます。

○映像コンテンツの作成・発信

隠岐ユネスコ世界ジオパークの資源、魅力、特徴などを編集した映像資料を作成します。具体的には、ドローン等を用いた空撮映像や祭りなどの動画、プロモーションビデオ、コンピュータグラフィックによる映像DVDなどを作成し、ホームページやYouTubeで配信するほか、イベントや船内などにおいて、魅力的に伝わるような活用を行います。

2-2. 克服すべきポイントに対する対策

1-3. (2)の克服すべきポイントに対して、以下の取組みを行います。

(1) 国内外への情報発信の強化

- ホームページでの動画（空撮映像や祭り・イベント・自然体験の様子など）配信
- 東京や広島をはじめとする島外で開催される観光情報説明会・商談会・隠岐人会など各種イベントでの情報発信
- 海外向けにフェイスブックなどを活用した情報発信
- プロモーションビデオなどによる旅行会社などへのPR
- 島外でのジオパークフェスタ・講演会・検定の実施やラッピングバスの運行
- 国内のユネスコ世界ジオパーク自治体と連携したPR活動

(2) 多言語対応の強化

- ホームページ・HP上のバーチャルツアー・リーフレット・見どころマップ・ガイドブック・副読本等を計画的に5か国語(日・英・仏・中・韓)対応とする
- 多言語対応の音声ガイドシステム及びQRコードを活用したわかりやすい説明の提供

(3) 来島者の満足度向上の取組み

- 音声ガイドシステムやQRコードの活用による、丁寧でわかりやすい説明の提供
- 認定ガイドの養成（H31年度までにマイスター5人・1級10人・2級20人）による満足度の高いツアー体験の提供
- 隠岐ジオパークのブランド化（ジオパーク認定店・認定商品制度・関連商品開発助成制度）による高品質化の維持や多様な商品化の推進

(4) 地域への啓発向上のための取組み

- 学校でのジオパーク給食・エッセイコンテスト・スピーチコンテストの実施
- 島民を対象とするジオパーク学習会・講座・検定・シンポジウムの実施やジオパーク新聞の発行

※ビューポイント1か所ごとにNoをつけ、ビューポイントごとに本様式に記載してください（ビューポイントが5か所ある場合は、別紙を5部作成すること）

※できる限り写真、図表等を使って分かりやすく記載してください

ビューポイントの展望

ビューポイント (満喫ポイント) の名称	国立公園 三瓶高原周遊ロード ～自然・温泉・アクティビティあふれる満喫ロード～	ビュー ポイントNo	2
----------------------------	--------------------------------------------	---------------	---

1. 現状分析

1-1. 利用形態、外国人旅行者の実態、当該ビューポイントまでのアクセス等

(1) ビューポイントの概要



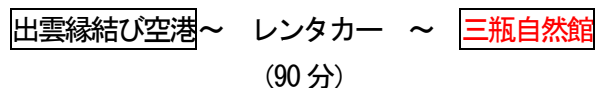
※ビューポイント1か所ごとにNoをつけ、ビューポイントごとに本様式に記載してください(ビューポイントが5か所ある場合は、別紙を5部作成すること)

※できる限り写真、図表等を使って分かりやすく記載してください

(2) ビューポイントまでの交通機関



<参考>



(3) ビューポイントに訪れる外国人の数・国籍・意識調査等

外国人入込客数上位5カ国（石見銀山地区主要施設）

	H 2 3	H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7
台湾	253	499	497	837	955
韓国	175	221	120	198	270
中国	155	155	155	239	264
米国	178	219	269	243	216
フランス	90	72	49	107	171
その他	445	642	556	715	929
合計	1,296	1,808	1,646	2,339	2,805

【台湾】台湾からの来訪客数は多く、さらに増加が見込める。団体客から個人客にシフトしつつあり、体験型観光に人気が高い。

【韓国】鳥取県に定期航路があり、来訪者数は常に上位に位置している。観光では登山、トレッキングブームであることから、主に団体客が三瓶登山に来られている。

【中国】いわゆる「爆買い」が落ち着き、旅の目的が買い物からビュースポット巡りや食事にシフトしている。広島空港からのルートが想定できる。

【米国】自然豊かな地を好まれる携行にあり、岩国米軍基地から3時間で来られる三瓶にもファミリーでの来訪がある。ケビンでの宿泊や、自然体験のニーズが高い。

【フランス】自然・文化を大事にする国であり、三瓶の景観は自国の自然公園にも負けないポテンシャルを有すると称賛いただいている。

※統計がとられていないが、近年、以下の点がみられる。

- ・三瓶地域は、石見銀山と隣接しており、三瓶温泉の宿泊施設にインバウンド観光客の増加がみられる。
- ・三瓶小豆原埋没林に近年インバウンド観光客の来館が増加している。

※ビューポイント1か所ごとにNoをつけ、ビューポイントごとに本様式に記載してください（ビューポイントが5か所ある場合は、別紙を5部作成すること）

※できる限り写真、図表等を使って分かりやすく記載してください

1-2. キャパシティ

大田市全体の宿泊客数推移

H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
181,686	192,499	174,746	163,875	157,366	153,952	164,157	159,015	161,487

年々宿泊客数は減少傾向にあるが、平成 20 年の宿泊客数である 19 万人は受け入れ可能である。冬季は積雪があることから敬遠されがちであるが、春節の時期に温泉や雪遊びが提供できれば、国内旅行とのすみ分けが可能となる。

宿泊施設の受入体制として、温泉の入り方や、ゆかたの着方等を外国語で説明するパンフレット等の充実が図れば、より多くの外国人に冬の三瓶を堪能してもらうことができる。

1-2. アドバンテージ（長所）と克服すべきポイント

(1) アドバンテージ：三瓶山の高原の美しい景観とくつろぎの三瓶温泉

① 三瓶山の景観維持への取り組み

三瓶山「西の原」は、広大な高原が広がっており、春から夏は若葉、秋はススキによる金色の草原、冬は、白銀の世界となり四季折々の景観が楽しめます。

（この景観を守るため、地元のボランティアにより 3 月には火入れ（野焼き）、清掃活動を行っています。）



三瓶山の火入れ



消火活動に使うジェットシューター



【火入れ】

・枯草を放置すると、堆積して、光が地面に届かなくなり、イバラなどが茂り、野鼠や害虫、ダニの棲家となり草原の利用ができなくなります。

三瓶山「西の原」では、過去から地元住民により、火入れが行われ、草原が維持されています。

この光景に多くの写真家や観光客が訪れ、中にはボランティアとして参加する方も増えています。

※ビューポイント 1 か所ごとに No をつけ、ビューポイントごとに本様式に記載してください（ビューポイントが 5 か所ある場合は、別紙を 5 部作成すること）

※できる限り写真、図表等を使って分かりやすく記載してください

② 県天然記念物「カキツバタ」の景観が広がる「姫逃池」

三瓶山北の原の「姫逃池」では、毎年、ボランティアを募集して県天然記念物「カキツバタ」を守る草刈り（清掃活動）を行っています。

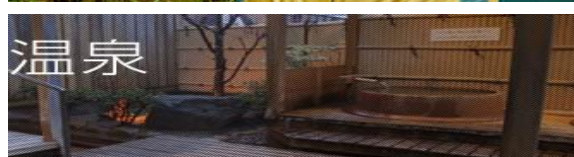
県では、平成 15 年に池の再整備と美しい姫逃池の周辺を散策ができるよう木道の整備を行いました。ゴールデンウィークには、満開の紫、白色のカキツバタが池の周りを咲き誇り、美しい景観が形成されています。



③ ヘルシートレーニングロードと三瓶温泉

三瓶山山麓の周回道路は、全周約 17km で、サイクリングやウォーキングを楽しみながら自然を満喫できます。周辺には、様々なビュースポットがあります。

- ・三瓶自然館（サヒメル）には、中国地方最大級の直径 20m のプラネタリウム、自然系博物展示、四季折々のイベント、県内最大の天文施設があり、悪天候時でも 1 日館内でくつろぐことができます。
- ・三瓶北の原野営場は、オートキャンプ、一般キャン、ケビンはもちろんのこと、ペットと泊まれるドックバンガローを完備しています。
- ・この三瓶山山麓は、登山、トレッキング、ウォークなどのスポーツを楽しみながら、良質の温泉が湧きでる三瓶温泉につかり、ゆったりと休養ができ、また、宿泊施設もあり長期滞在も可能です。地元では「さんべツーリズム協議会」が立ち上がり地域の特徴を活かした取り組みを行っています。



④ 特徴ある文化と歴史

三瓶山の小豆原では、4000年前の噴火で埋没した古代杉が地下で保存されている「小豆原埋没林公園」があります。最近では、世界遺産「石見銀山」に訪れた外国人などの観光客も立ち寄る傾向があります。歴史と文化に優れた三瓶山地域では、インバウンドの可能性が広がっています。



小豆原埋没林公園
(車で10分)



世界遺産石見銀山
(車で40分)

※ビューポイント1か所ごとにNoをつけ、ビューポイントごとに本様式に記載してください（ビューポイントが5か所ある場合は、別紙を5部作成すること）

※できる限り写真、図表等を使って分かりやすく記載してください

【石見神楽】

石見神楽は、出雲の佐蛇神能をベースに、民衆娯楽として演劇化されてきたものと言われます。「八岐大蛇」や「鍾馗」「恵比寿」など、神話を始めとしたさまざまな故事を題材にした演目があり、きらびやかな衣装をまとい、ダイナミックに動く、娯楽性の高い芸能です。

地域によって実施する演目や調子が独自に異なり、三瓶地域では、古来の型と呼ばれる比較的緩やかなテンポ、六調子での舞いが中心です。神事として舞う奉納神楽、イベントとしての神楽があります。



【活用の現状】

石見地方では現在もよく親しまれ、神社での奉納神楽のほか、様々な行事機会上演され、石見地方を代表する、全国的な人気を誇る郷土芸能として定着しています。

地域住民の関心は高く、神楽社中（団体）には小中学生なども多く参加し、子供だけの上演機会もあります。定期的な公演や、宿泊場所への出張上演制度も存在し、一般の来訪者でも、色々な機会に観覧することができます。



【三瓶地域周辺の神楽団】

- ・多根神楽団
- ・三瓶山神代神楽社中
- ・飯南神楽団
- ・都神楽団
- ・千原神楽団

これらは地域住民が任意に組織している団体です。神楽保存会、同好会などから発展し、地域行事だけでなく、各地での公演を実施している団体もあります。



【活用と発信】

石見神楽は衣装のきらびやかさ、芸術性から、特に欧州圏の観覧者から中心に高い評価を寄せられています。

また、今でも民間の娯楽として講演されているため、演者・舞台と観覧者の距離が近く、また気軽に楽しめる、日本の伝統文化を体感する上でとても接しやすいものです。

団体旅行に対しては出張上演を行うことも可能であり、宿泊滞在時の提供プログラムとして活用できます。

※ビューポイント1か所ごとにNoをつけ、ビューポイントごとに本様式に記載してください（ビューポイントが5か所ある場合は、別紙を5部作成すること）

※できる限り写真、図表等を使って分かりやすく記載してください

(2) 克服すべきポイント

- ・外国人の受入実績が少なく、外国語表記をした看板やパンフレットが不十分である。
- ・外国人が三瓶山登山するにあたり、最低限のマナー（ゴミの持ち帰り、動植物の採取の禁止等）が説明できていない。

2. 対策

2-1. アドバンテージを更に伸ばすための対策

・ビジターセンター三瓶自然館（サヒメル）のリニューアル整備

三瓶自然館は、島根県の環境教育、自然保護の牽引する施設であり、また、三瓶山地域一帯を自然の博物館「三瓶フィールドミュージアム」として紹介する、ビジターセンターとしてオープンしました。平成33年は、開館30周年を向かえる節目の時期であり、インバウンド観光にも対応した施設となるよう、現在、リニューアルを検討しています。

- ・遊歩道、登山道の倒木処理等を行い、安心・安全な国立公園の確保に努めます。
- ・クリーン三瓶など、地域のボランティアとともに三瓶高原の環境保全に一層努めます。

2-2. 克服すべきポイントに対する対策

- ・外国人観光客がスムーズに観光できるよう施設案内看板、遊歩道、登山道の倒木処理、トイレ等の整備を行うとともに、三瓶山広域ツーリズム振興協議会（大田市、飯南町、美郷町）により、旅行商品を造成し、ツアーの定着を図ります。
- ・三瓶は国民保養温泉地として環境省から指定を受けており、今後、エリアの拡大を予定しています。市が所有する温泉施設は外国人がストレスなく入浴できるように整備を行います。
- ・展望所等の改修を図ります。
- ・環境省の交付金等を活用し、外国語表記の案内板の整備に努めていきます。
- ・ビジターセンターでの外国人旅行客への対応できる環境を整備、外国語パンフレット等の充実を図ります。

※ビューポイント1か所ごとにNoをつけ、ビューポイントごとに本様式に記載してください（ビューポイントが5か所ある場合は、別紙を5部作成すること）

※できる限り写真、図表等を使って分かりやすく記載してください

ビューポイントの展望

ビューポイント (満喫ポイント) の名称	島根半島地域西部 出雲大社神門通り	ビュー ポイントNo	3
----------------------------	-------------------	---------------	---

1. 現状分析

1-1. 利用形態、外国人旅行者の実態、当該ビューポイントまでのアクセス等

(1) ビューポイントの概要



※ビューポイント1か所ごとにNoをつけ、ビューポイントごとに本様式に記載してください（ビューポイントが5か所ある場合は、別紙を5部作成すること）

※できる限り写真、図表等を使って分かりやすく記載してください

明治 45 年の国鉄大社駅の開業を受けて整備された「出雲大社神門通り」は、車社会の到来や、平成 2 年の JR 大社線の廃線の影響も受け人通りは激減し、通りはかつての賑わいを失いました。

しかし、平成 19 年には、出雲大社のとなりに島根県立古代出雲歴史博物館が建設され、過去に巨大な本殿を支える柱であった可能性の高い「出雲大社境内遺跡出土の宇豆柱」や、出雲市斐川町の「荒神谷遺跡」から昭和 59 年に出土した「銅剣 358 本」などが展示され、古代出雲王国を創造させる魅力的な施設として多くの人が訪れています。

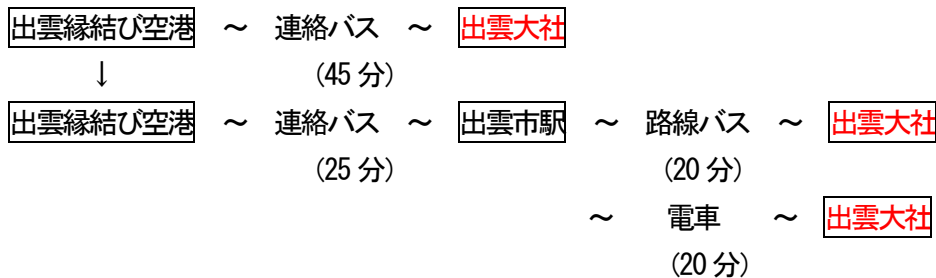
また、出雲地方は、ぜんざい発祥の地と言われております。これは、出雲地方では旧暦の 10 月に全国から神々が集まり、このとき出雲では「神在祭（かみありさい）」と呼ばれる神事が執り行われています。

そのお祭りの折に振る舞われたのが「神在（じんざい）餅」です。その「じんざい」が、出雲弁（ずーずー弁）で訛って「ずんざい」、さらには「ぜんざい」となって、京都に伝わったと言われています。

現在は、神門通りにも多くの「出雲ぜんざい」の店が立ち並んでいます。

そして、平成 20 年からの 60 年ぶりの出雲大社平成の大遷宮を契機に、神門通りの店舗数も増え、多くの人が往来し賑わいをとりもどしました。出雲大社本殿遷座祭が執り行われた平成 25 年には、出雲大社周辺には過去最高の約 800 万の観光客が訪れ、平成 27 年も、年間約 600 万人の観光客が訪れ、引き続き多くの人で賑わっています。

(2) ビューポイントまでの交通機関



(3) ビューポイントに訪れる外国人の数・国籍・意識調査等

①平成 27 年 外国人観光入込者数

- ・島根県立古代出雲歴史博物館来館者数 1,823 人

※国籍別内訳 中国 313 人、台湾 280 人、アメリカ 272 人、フランス 117 人、
韓国 109 人、香港 100 人など

- ・手銭記念館 5 人（国籍不明）

②平成 27 年 外国人宿泊者数

- ・出雲大社周辺 11 施設 69 人

国籍別内訳 中国 10 人、アメリカ 9 人、ドイツ 9 人、香港 7 人、フランス 6 人など

【参考】

平成 27 年 外国人宿泊者数（出雲市全体）合計 4,838 人

国籍別内訳 韓国 1,573 人 中国 1,141 人、台湾 420 人、アメリカ 300 人、香港 281 人など

1-2. キャパシティ

出雲大社平成の大遷宮を契機に多くの観光客が訪れるようになりました。また、出雲大社の参道である神門通りについても、石置化、電線の地中化などにより街並み景観も美しくなり、多くの店舗が立ち並ぶ商店街として蘇りました。

※ビューポイント 1 か所ごとに No をつけ、ビューポイントごとに本様式に記載してください（ビューポイントが 5 か所ある場合は、別紙を 5 部作成すること）

※できる限り写真、図表等を使って分かりやすく記載してください

出雲大社平成の大遷宮を契機に多くの観光客が訪れるようになりました。また、出雲大社の参道である神門通りについても、石畳化、電線の地中化などにより街並み景観も美しくなり、多くの店舗が立ち並ぶ商店街として蘇りました。店舗数も平成 23 年の 40 店舗から、平成 27 年には約 70 店舗に増加し多くの観光客で昔の賑わいを取り戻しています。

宿泊施設については、出雲大社周辺に 14 施設あり、内訳としてはホテル 1 施設、旅館 8 施設、民宿 3 施設、ゲストハウス 2 施設です。古くから営業している旅館、民宿中心のエリアとなっておりますが、近年ゲストハウスがオープンし、平成 29 年春（予定）には、客室数が 160 部屋のホテルがオープン予定であり、キャパシティも増えており、滞在してもらう環境は整ってきています。

なお、出雲市全体では、宿泊施設数 80 施設、定員約 4,300 人のキャパシティです。

1-2. アドバンテージ（長所）と克服すべきポイント

（1）アドバンテージ（長所）

①出雲大社神門通りの景観とおもてなし環境整備

「出雲大社の参詣道『神門通り』は、明治 45 年の国鉄大社駅の開業を受けて整備されました。当時は参拝客で賑わっていたのですが、1960 年代の車社会が到来すると、参詣道を車で通過して参拝する形に動線が変わっていきました。また、平成 2 年に JR 大社線の廃線の影響も受け人通りは激減し、通りはかつての賑わいを失っていました。

しかし、観光客はもちろん地元の方々にも将来にわたって愛される神門通りとなるよう、出雲市、島根県、神門通り廻りの会などにより、

通りの幅員の見直しや、石畳化、電線の地中化のほか、沿道の街並みの景観などのルール作りも官民一体で検討しました。街並みは、看板の大きさ・色合いに制限を設け、外壁は漆喰・板張りなどの和風仕上げで色彩も統一



【H25年8月 幅員を見直し、石畳化と電柱地中化により街並みが一変】



【H22年頃の神門通り】



一、空調の室外機などの建築設備は木製格子で覆うなど、神門通りにふさわしい和風デザインの沿道建築物修景の基準「神門通り地区まちづくり協定」を策定しました。また、「通りの日除け暖簾設置」、「縁台」などを置き、通りの統一な景観をつくりました。

このような取り組みにより、参道は徐々に活気を取り戻し、神門通りの「歩行環境満足度調査」では、“通りの魅力”が、平成 17 年には、「満足している」の回答が、全体の 3.7%でしたが、平成 25 年には 67.6%まで向上し、“イベントなどの通りの賑やかさ”についても「満足している」の回答が、平成 17 年の 14.1%から平成 25 年には 52.0%まで向上するなど高く評価されています。

また、出雲大社周辺の入込客数も、平成 23 年まで 200 万人～250 万人で推移していましたが、24 年には、約 350 万人、平成 25 年は本殿遷座祭もあり約 800 万人のお客様が訪れました。平成 26 年、27 年も 600 万人を超えるなど引き続き多くのお客様が訪れています。

こうした取り組みは、平成 24 年度：しまね景観賞（優秀賞）、平成 26 年度：国土交通省大臣表彰「手づくり郷土賞」、平成 27 年度：国交省中国地方整備局の都市景観大賞の都市空間部門『優秀賞』を受賞するなど、街づくりの成果が認められました。今後も景観をはじめ、来訪者に喜ばれる取り組みを行っていきます。

※ビューポイント 1 か所ごとに No をつけ、ビューポイントごとに本様式に記載してください（ビューポイントが 5 か所ある場合は、別紙を 5 部作成すること）

※できる限り写真、図表等を使って分かりやすく記載してください

②神話のふるさと出雲（神在月）

出雲地方は、神話の舞台として、1300 年前に編纂された古事記、日本書記に多く登場します。現在も神話ゆかりの地として多くの神社などが残っており、古代から続く伝統・文化の継承を感じることができます。

「古事記」「日本書記」によれば、「大国主大神」の国譲りに際して、底つ磐根に宮柱を深く立てた壮大な宮殿を造られたのが出雲大社の始まりです。現在の御本殿は延享元年（1744 年）に造営されたもので、高さは24m。昭和27 年(1952 年)に国宝に指定されています。60 年に一度の「御遷宮」に伴う御修造により、葺き替えを終えた真新しい檜皮（ひわだ）と、千木（ちぎ）・勝男木（かつおぎ）を頂く姿を拝することができます。

また、年間を通して多くの祭事が行われています。旧暦の10 月は全国の神々が出雲の国に集まるといわれ出雲地方は「神在月」と呼んでいます。

1. 神在祭（出雲大社）

大山隠岐国立公園の島根半島地域（西部）に位置する「出雲大社」では、毎年旧暦10 月に全国の八百万（やおよろず）の神々が出雲の国に集まられるといわれています。全国的には神様が留守になるとして「神無月」といいますが、出雲では「神在月」と呼びます。出雲大社では7 日間、神々のはかりごと（神議り）が行われ、人には予測できない諸般の事を決められます。その中には、男女の結びも含まれるとされ、良縁を願う人々のお参りが絶えません。人々は神譲りの邪魔をしないように歌舞音曲を慎む風習、言い伝えが今の暮らしの中にも残っています。



2. 神迎神事・神迎祭(旧暦10月10日)

稲佐の浜で、御神火が焚かれ、注連縄が張り巡らされた斎場の中で神々をお迎えする神迎神事（かみむかえしんじ）が行われます。

神職により龍蛇神を先導として、神々を浜から出雲大社への「神迎の道」を通りご案内されます。参拝者もその後ろに連なり、行列が延々と続きます。境内に着くと、出雲大社神楽殿で「神迎祭」が執り行われます。



また、出雲大社から北に行くと、島根半島最西端の断崖にそびえる出雲日御碕灯台と、日本の夜を守る場所として日御碕神社、天照大神が鎮座した神域である経島があります。

3. 日御碕神社

島根半島の西端、国内随一の夕日の美しさで知られる日御碕に鎮座する神社。

伊勢神宮が「日の本の昼を守る」のに対し、「日の本の夜を守る」と伝えられています。



4. 例大祭（神幸祭）

素戔鳴尊（すさのおのみこと）を祭る神の宮で例祭が始まり、続いて天照大御神（あまてらすおおみかみ）を祭る日沈宮で行われます。

夕刻になると、神官が神域である「経島」に渡り、神事が行われます。（神幸神事）

※ 「経島」への上陸は、ふだんは禁止されています。この神事るとき神官のみが渡ります。その他はウミ

※ビューポイント1か所ごとにNoをつけ、ビューポイントごとに本様式に記載してください（ビューポイントが5か所ある場合は、別紙を5部作成すること）

※できる限り写真、図表等を使って分かりやすく記載してください

ネコの生育調査に関係者が特別に許されます。

5. 出雲日御碕灯台

「世界の歴史的灯台百選」であり、明治 36 年(1903)年に設置され、高さは 43.65m、海面から灯塔の頭上までは 63.3mと日本一の高さを誇ります。光度は 48 万カンデラで夜間約 40 km沖合まで達し、100 歳をすぎた今なお現役で海の安全を守っています。



(2) 克服すべきポイント

- ①外国人観光客のための多言語による案内看板、パンフレットの不足
- ②外国人観光客のための観光案内（観光案内所の機能、通訳スタッフ、ガイド）
- ③外国人観光客への各店舗（看板、メニュー、接客）や住民のおもてなしの取組
- ④外国人観光客への情報発信（出雲の食文化、出雲神話）
- ⑤外国人観光客への日本文化の体験メニュー、施設の不足
- ⑥外国人観光客の宿泊者数を増やすための取り組み
- ⑦外国人観光客誘客のためのプロモーション、情報発信が十分でない。

2. 対策

2-1. アドバンテージを更に伸ばすための対策

①出雲大社神門通りの景観とおもてなし環境整備

官民協力のもと、引き続き、良質な景観形成に努めるとともに、多くの観光客をお迎えするためのおもてなし環境整備に向けて取り組みます。

②神話のふるさと出雲（神在月）

国内外への情報発信を強化するとともに、神話のストーリーをもとにしたルート策定など多くの観光客に魅力のあるメニューを提供し誘客に繋がります。

2-2. 克服すべきポイントに対する対策

- ①景観に配慮しながら、多言語による案内看板を設置するとともに、滞在力・周遊力を強化するため、国ごとに興味・関心があるテーマに絞ったパンフレットを作成します。
- ②観光案内所については、外国人観光客も訪れて満足できるよう機能強化を図ります。また、通訳スタッフやガイドについては、出雲観光協会やガイド団体と連携・協力し、研修等により人材育成を図るとともに、多言語に対応する案内ガイドマニュアルを作成します。
- ③各店舗や住民のみなさんとワークショップを開催するなど意見交換を実施し、官民一体となったおもてなしの取り組みを実施します。
- ④FAMツアーや外国人旅行者へのアンケート調査などを通してニーズを把握するとともに、効果的な情報発信を行います。
- ⑤体験メニューの掘り起しを行い、外国人目線でのアクティビティを充実させ満足度を向上します。
（例：そば打ち、日御碕の海底遺跡へのダイビングなど）
- ⑥出雲観光協会などと連携・協力し、宿泊施設を対象とした外国人受入の研修会を開催するとともに、出雲の朝や夜の魅力を発信することにより宿泊者数の増につなげます。
- ⑦ターゲットを絞り、PRビデオを作成するなどのプロモーション活動と並行して、影響力のある方を招聘しSNSによる情報発信を強化します。

※ビューポイント1か所ごとにNoをつけ、ビューポイントごとに本様式に記載してください（ビューポイントが5か所ある場合は、別紙を5部作成すること）

※できる限り写真、図表等を使って分かりやすく記載してください

ビューポイントの展望

ビューポイント (満喫ポイント) の名称	島根半島地域東部 地蔵崎と美保関灯台 ～風情と歴史の残る街～	ビュー ポイントNo	4
----------------------------	-----------------------------------	---------------	---

1. 現状分析

1-1. 利用形態、外国人旅行者の実態、当該ビューポイントまでのアクセス等

(1) ビューポイントの概要

- ・大山隠岐国立公園に指定されている島根半島の最東端にある地蔵崎園地。この地域は複雑に入り組んだリアス式の海岸部と美しい断崖景観が特長で、**世界灯台百選**に選ばれた異国情緒のある**美保関灯台**とともに、自然を楽しむことができます。地蔵崎園地からは、大山の稜線から昇る初日の出や日本海に沈む夕日を見ることができ、見通しのいい日には隠岐島を望むこともできるスポットです。



(2) ビューポイントまでの交通機関

山陰本線松江駅 ～ 路線バス ～ **美保関車庫下車** ～ 遊歩道（3 km） ～ **地蔵崎園地**
（1 時間 20 分）

※ビューポイント1か所ごとにNoをつけ、ビューポイントごとに本様式に記載してください（ビューポイントが5か所ある場合は、別紙を5部作成すること）

※できる限り写真、図表等を使って分かりやすく記載してください

(3) ビューポイントに訪れる外国人の数・国籍・意識調査等

海外からの来訪者数の正確なデータはありませんが、美保関地区の福間館を中心に海外からの宿泊客数が、ここ数年大きく伸びてきています（福間館データより/平成26年1～12月期198延泊、平成27年同期272延泊、平成28年1～6月期213延泊）。傾向として欧米からの観光客は、2～5泊とロングステイが多く、香港・上海等アジア系の観光客は1泊の傾向が強い状況です。その方々からのヒアリングから、島根半島東部の美しい景観（地蔵崎、馬着山、東部海岸線等）や日本の原風景の残る街並み（美保神社、青石畳通り、港町風情等）、そして古くから伝承されている日本の歴史的な風習（神事、祭事等）などを楽しまれています。

1-2. キャパシティ

美保関地区の旅館・ホテルが5軒、延べ約400人泊/1日となるが、定員4～6名の部屋が中心です。特に、欧米系の外国人は、個人旅行が多く、2名までの少人数対応が多いため、そのキャパシティは半減している状況です。

1-2. アドバンテージ（長所）と克服すべきポイント

・島根半島東部の松江市美保関町の東端地域は、そのほとんどが国立公園地域となっていますが、中心街は除外区域です。しかし、当該地域は、出雲神話の伝承の残る重要文化財の美保神社を中心として、外国人観光客が来訪しており、その流れが地蔵埼・五本松公園などへの国立公園への来訪に繋がっています。美保神社周辺の景観形成と異文化体験は、外国人観光客の心を惹きつけています。



※ビューポイント1か所ごとにNoをつけ、ビューポイントごとに本様式に記載してください（ビューポイントが5か所ある場合は、別紙を5部作成すること）

※できる限り写真、図表等を使って分かりやすく記載してください

～美保神社周辺のビューポイント～

1. 青石畳通り

(1) 経緯

ここ美保関は、江戸中期以降、雲州（島根県東部）、伯州（鳥取県西部）、隠州（隠岐島）をはじめとする北前船の西廻り航路の寄港地で、松江からの宿場町だった美保関町は、多くの通行人が通ることより、島根半島沖の海底から石を切り出し、綺麗に敷き詰めた最古の舗装道路を造りました。この通りは、雨が降り水に濡れると青く光ることより青石畳通りと呼ばれており、海運業が栄えたこの地方の繁栄の影をしっかりと残しています。



【青石畳通り】

(2) 街づくりの取組み

【主体】美保関地区観光協会、美保関地域観光振興協議会、松江観光協会美保関町支部

【協力】松江市美保関支所、美保神社、美保関旅館組合、美保関地区活性化協議会、広瀬餅センター

【内容】美保関神社参道より、街並みの中をまっすぐ続く約250mの道「通称：青石畳通り」は、大正時代の佇まいの旅館など古き良き時代を感じられるレトロな風情が残ります。その景観を地元で大切に保存する取組みが行われています。特に、毎年、観光客が多く訪れる10月～11月末の（土・日・祝日）には、広瀬餅の灯籠を所々に設置して照らす「青石畳通りライトアップイベント」を実施しています。



2. 取組みの成果

青石畳通りに面した旅館「福間館」は、古民家を街並みに合わせたレトロな風情に改良し、欧米系外国人のロングステイを受け入れています。（※欧米人向けHPサイトで周知）

【参考】

観光協会では、宿泊者に美保神社で毎朝行われている「供物奉納、巫女舞」などの「朝御饗（あさみけ）」を体験するプログラムを用意し人気を集めています。



※ビューポイント1か所ごとにNoをつけ、ビューポイントごとに本様式に記載してください（ビューポイントが5か所ある場合は、別紙を5部作成すること）

※できる限り写真、図表等を使って分かりやすく記載してください

～島根半島地域（美保関）での伝統・文化の継承～

国の重要文化財に指定されている美保造の「美保神社」は、出雲大社で祀る大国主の命（だいこく様）の妻、「美穂津姫命」と、息子の「事代主神」（えびす様）を祀る「えびす社の総本社」です。

松江市美保関町では美保神社をはじめ各神社で、他の地域にはない独自神事が、年間、古式ゆかしく地元の人々によって守り継がれています。

○年間を通して行われる神事（抜粋）

・笠浦竜神祭り（日御碕神社） 1月7日

麦藁を束ねて竜神船（リンゴンさん）を造り、海へ流し、海上安全と、豊漁を祈る祭りです。

・墨つけとんど（方結神社） 1月6日以降の日曜日

風呂やかまどの煤（すす）を練って大根の輪切りに付け、地区の人々の顔に塗って一年の無病息災を願うユニークなものです。

・流鏑馬神事（爾佐神社） 4月3日

悪魔を祓い、安全と大漁豊作を祈願して地区内を歩き、最後に3本の矢を射するという、古式ゆかしい神事です。

・青柴垣神事（美保神社） 4月7日

美保神社祭神の事代主命（恵比寿さま）が、天つ国の使者から国譲りの相談を受け、承諾した後に自ら海中に青い柴垣を巡らせて籠られたという神話に因んだ神事です。事代主命と三穂津姫命の依り代となった2人の當屋が2隻の船に乗って美保関港内を巡ります。

・諸手船神事（美保神社） 12月3日

青柴垣（あおふしがき）神事と同様に国譲り神話にちなんだ神事で、毎年12月3日に行われます。天つ国の使者が船に乗って国譲りの交渉にやって来る様子を再現したもので、美保関港内で2隻の諸手船が水を掛け合いながら廻る様子が有名です。

・はんぼかべり神事（横田神社） 10月、11月

「はんぼ」は、飯びつのことで、大国主命が事代主命の所へ行く途中に漁師宅で一宿一飯の恩義を受け、喜んで「はんぼ」を頭にかぶったという伝説に因んだ神事です。「はんぼ」を頭の上に載せて踊り、豊作や大漁を祈願するものです。



※ビューポイント1か所ごとにNoをつけ、ビューポイントごとに本様式に記載してください（ビューポイントが5か所ある場合は、別紙を5部作成すること）

※できる限り写真、図表等を使って分かりやすく記載してください

(2) 克服すべきポイント

美保関地区を中心とした半島東部にビューポイントや宿泊施設・観光スポットが形成されています。しかし、交通アクセスが十分でないところが克服すべきポイントです。公共交通網では、バスによる移動が要となりますが、乗継ぎに配慮した時刻設定が必要です。また、海外からの来訪のサポートとして、周辺観光地（境港・松江市街地等）からの案内やアテンドの重要性を認識していますが、対応が遅れているのが現状です。

2. 対策

2-1. アドバンテージを更に伸ばすための対策

(1) インバウンド観光対応

- ・観光案内看板や主要パンフレットの多言語対応、海外からの来訪者への案内プログラムやシステムの構築を進めていく予定です。

また、地域に色濃く残る日本の伝統や文化の継承と発信の強化を図っていきます。(海外へ向けての発信も強化)

(2) 遊歩道・登山道の倒木等処理

- ・観光客が不自由なく安心安全に利用できるよう遊歩道での倒木処理や修繕の迅速化に努めます。

2-2. 克服すべきポイントに対する対策

(1) 宿泊施設による送迎サービスの実施を行っています（境港・松江市街からの送迎）。

送迎サービスの実施について、HPやSNSをはじめ、あらゆる広報媒体での広報を強化します。

(2) 繁忙期：米子空港～JR 境港駅～美保神社～美保関灯台を結ぶ直通バスの運行（社会実験実施中）をしています。

- ・平成27年度：10月、11月の週末及び正月3カ日
 - ・平成28年度：ゴールデンウィーク10日間 9月17日～12月4日土日祝他
- ※交通アクセスを充実させ、外国語表記やHP等での案内の充実を図ります。

※ビューポイント1か所ごとにNoをつけ、ビューポイントごとに本様式に記載してください（ビューポイントが5か所ある場合は、別紙を5部作成すること）

※できる限り写真、図表等を使って分かりやすく記載してください